

連絡協のあゆみ

# 連絡協のあゆみ

— 創立30周年記念誌 —

創立30周年記念誌

茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会

茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会

## ■ 連絡協議会30周年を迎えて



茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会は、昭和59年12月に設立され、市社会福祉協議会を始め、各種団体及び地域の皆様方のご理解とご協力を賜り、ここに30周年を迎えることができました。厚くお礼申し上げます。

連絡協議会は、市社会福祉協議会と協働しながら、平成24年度に全12地区社会福祉協議会で地区ボランティアセンターを開所するなど、各地区における福祉の増進を進めています。

また、長引く不況と高齢化社会の到来で、福祉ニーズも多様化し、介護保険制度等も大きく変わろうとしています。住み慣れた地域で支え合いたすけあいながら生活できるように、福祉の課題解決と支援体制の確立や、コーディネーター配置事業等の人材育成と各関係機関・団体等との密接な関係が重要になってまいりますとともに、地区社会福祉協議会への期待はますます大きくなって来ると思います。

今後も福祉の向上を、市社会福祉協議会及び諸団体と目的を共有して推進していきたいと願っておりますので、なお一層のご尽力とご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご健勝とますますのご活躍を祈念いたしますとともに、本誌発刊に際し、ご祝辞、ご協力を賜りましたことに感謝申し上げ、挨拶とさせていただきます。

茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会  
会 長 浅 岡 肇

## ■ 30周年記念誌発刊を祝して



茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会が、このたび設立30周年を迎えられ、記念誌が発刊されますことを心からお祝い申し上げます。

貴連絡協議会は、身近な地域に根差した活動を進める地区社会福祉協議会相互の福祉活動に関する連絡調査・情報交換を目的に、昭和59年12月に設立されました。以来、30年間に茅ヶ崎市社会福祉協議会や茅ヶ崎市行政、各関係機関とともに、その時代のニーズに合わせた地域での支えあいの活動を展開し、住みよいまちづくりを進めていただきました。皆様方のご努力に深く敬意と感謝を表する次第です。

昨今、少子・高齢化の進行による世帯人員の減少、生活様式の変化に伴う地域社会の変容などにより、社会的孤立や経済的困窮などを含むこれまでの制度では解決が難しい課題が増えています。改めて、地域住民のつながりによる支えあいの体制づくりが重要視されてきています。

このような中で、茅ヶ崎市社会福祉協議会では、新たな課題に対応し「一人ひとりが生き生きと暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、貴連絡協議会及び各地区社協の皆様とより一層連携を深め、それぞれの役割を担いながら事業を展開してまいりたいと考えていますので、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴連絡協議会のさらなるご発展、並びに関係皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いのごあいさつとさせていただきます。

社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会  
会 長 熊 澤 克 躬

## ■ 創立30周年記念誌の発刊を祝して



茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会が創立30周年を迎えられましたことを心からお喜び申し上げます。

貴会は、市社会福祉協議会と連携を密にして地区住民の福祉の向上を図ることを目的として、昭和59年12月に設立されました。今日まで30年間、地区の住民の立場として住みよいまちづくりのため、多大なるご尽力をされてこられましたことに深く感謝するとともに心から敬意を表します。

近年の急速な少子高齢化の進展や、核家族化等による地域社会の変化は、生活課題の多様化、複雑化をもたらし、「地域福祉」の重要性が増々高まっています。国においても、介護保険制度の改正や「地域包括ケアシステム」の構築を目指すなど、これまでの行政サービスに加えて、地域の皆様で相互を支え合う方向へと転換が図られています。

貴会におかれましては、日頃より各地区の取組の事例発表や研修会、視察研修などを通じて、地区の住民の福祉向上を図るための研究を重ねてこられました。地域の支え合いの拠点である地区ボランティアセンターもこの12年で2地区から全12地区に広がり、平成22年度から始まったコーディネーター配置事業の推進にもご協力をいただいているところでございます。

本市においては茅ヶ崎市地域福祉計画を、市社会福祉協議会においては茅ヶ崎市地域福祉活動計画を策定し、連携のもと地域福祉の推進を図ってまいりましたが、平成27年度を計画始期とする次期計画については、両計画を一体化し、地域福祉活動の担い手となる市民の皆様にとってわかりやすい計画を目指して策定を進めております。この計画に掲げてまいります取組の推進には、各地区社会福祉協議会との連携を欠かすことができないものと考えております。

今後も各地区の住民並びに本市の地域福祉の充実のため、より一層のご尽力をお願いいたします。

終わりに、貴会のますますのご発展と地区住民の皆様の健勝を祈念いたしまして、お祝いのごあいさつとさせていただきます。

茅ヶ崎市長

服部 信明

## ●●● 地区社会福祉協議会連絡協議会30年のあゆみ ●●●

### はじめに

この度、茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会が設立されて30周年を迎えるにあたり、過去の記録を留めて将来の糧にするため、記念誌を発行することになりました。過去のあゆみの年代を次の3時期に分けて振り返ります。

### 創生期（昭和63年度まで）

昭和56年の国際障害者年を契機として、ノーマライゼーション（高齢者や障害者などすべての人が一緒に暮らす福祉社会）の理念が謳われました。国においては、在宅福祉を重視し、その具体策として、地域福祉計画の策定の提言や地域福祉の実施の運営体制の整備が提言されました。こうした背景から、地域の住民自身がよりよい福祉生活を営むためには、地域住民の協力・自主的な活動が必要となり、全国各地で地区社会福祉協議会（以下「地区社協」）が作られました。

当市においても、地区社協の設置について検討が進められ、昭和55年に旧小和田地区社協（小和田地区、松浪地区、浜須賀地区）が設立されました。しかし、昭和56年に自治会連合会が11地区に分割されたことにより、同様に3地区に分かれることとして解散し、同年、松浪地区社協が発足しました。それを皮切りに、各地区で順次地区社協づくりが進められ、昭和61年の湘北地区社協の発足により、全地区に結成をみることができました。

各地区社協では、地域に根ざした活動として、福祉まつりや独居老人昼食会・老人と子どもの集いなど、さまざまな事業が展開されました。

各地区でつくられた地区社協が、相互の福祉活動に関する連絡調査・情報交換をすすめること、また、市社会福祉協議会（以下「市社協」）と協力を密にして地区住民の福祉の向上を図ることを目的として、昭和59年12月3日に茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会が設立されました。

当初は、地区社協の共通課題として、地区住民に地区社協の存在を知ってもらうため、広報づくり実務者講習会を開催しました。また、昭和61年度は、地区社協とは何かを役員が十分理解するために、講座の開催を重点的に行いました。

### 成長期（平成元年度～平成11年度まで）

平成になると少子高齢化も一層進行し、国の施策としてゴールドプラン（高齢者）やエンゼルプラン（児童）、障害者プランが策定されました。また、高齢者介護の問題を社会全体で対応するべく、介護保険制度が検討されました。

地区社協としては、創生期からの事業の充実をはじめ、ミニデイサービスなど新規事業や高齢者問題（独居老人の安否確認など）にも積極的に取り組み、在宅老人等給食サービスが開始されました。また、地区社協連絡協議会としては、事例発表や視察研修を積極的に行い、研修内容も創生期の「どのように知ってもらおうか」という広報啓発活動の内容から「どのように活動していくか」という内容が中心となりました。

### 転換期（平成12年度以降）

「社会福祉基礎構造改革」をはじめとした法律・制度の改正により、福祉サービスについても行政による措置から契約による個人の選択を尊重した利用制度に変わりました。併せて、利用者の保護や地域での生活を総合的に支援する地域福祉の充実についても重要性が謳われています。しかし制度改正の一方で、制度の「はざ間」で困難を抱える方も生じてきました。

このような中で、地区社協及び地区社協連絡協議会では、身近な地域での交流の場としてのミニデイ・サロン活動をさらに活発化させるとともに、地域住民の生活でのちょっとした困りごとを地域で支えるために、地区ボランティアセンター活動を進めてきました。平成15年度から浜須賀、湘北の2地区で始まり、平成24年度までに全12地区に設置され、多くの住民ボランティアにより活発に進められています。

また、平成20年の「これからの地域福祉のあり方に関する研究会報告書」では、地域における多様な福祉課題に対応するため、協働による新たな支え合いの体制づくりの必要性が示されました。そこでは、地区（圏域）での生活課題を発見・共有し、住民が主体となって参加し、ネットワークで対応していくことが盛り込まれています。

これを受けて、各地区社協では、「懇談会」を開催し、地区内の課題共有を進めています。また、地区ボランティアセンターでの相談支援、ネットワークの機能を生かして、市社協、行政、福祉関係機関と協働による支援体制づくりを「茅ヶ崎市コーディネーター配置事業」などにより始めました。それぞれの取り組みを各地区で進められるよう、地区社協連絡協議会では、事例発表会や研修会で取り上げてきました。

今後、介護保険法の改正や地域包括ケアシステムなど、さらに地区社協への期待が高まる中で、地区社協連絡協議会では情報の共有や研修の機会を提供し、各地区社協が協議体としての機能を発揮して、地区住民のより良い生活を支える組織となるよう支援してまいります。

## ●●● 地区ボランティアセンター活動による地域福祉の展開 ●●●

地区社協連絡協議会の創立20周年を迎えた平成15年度以降の10年は、地区社協にとっては地区ボランティアセンターの整備の10年ともなりました。平成15年度の浜須賀地区、湘北地区を皮切りに、平成24年度の茅ヶ崎地区での設置をもって市内全12地区で地区ボランティアセンターが活動を開始しました。

この間、地区社協連絡協議会においても、事例発表会や研修会で地区ボランティアセンターをテーマに取り上げ、各地区社協が立ち上げるにあたっての支援を行いました。

### ○地区ボランティアセンター活動とは？

ちょっとした困りごとの手助けなど、同じ地区に暮らす人同士の支え合い活動です。

地区の拠点（地区ボランティアセンター）で相談の受付を行い、草取や買い物代行などの生活支援活動を行っています。

### ○背景

平成12年の介護保険制度など、福祉サービスの利用が従来の行政による措置から契約による利用制度へと変わりました。一方で制度の「はざ間」も生まれ、サービスの充実と合わせて地域での支え合いの必要性が再確認されました。

そこで、茅ヶ崎市では介護保険等制度だけで対応できない高齢者への支援者（ボランティア）育成を目的に平成13年度に「ボランティア地域介護支援事業」を開始しました。平成14年度からは茅ヶ崎市社協に委託となり、地区を支援するボランティア育成講座が行われ、平成15年度からは、地区でのボランティア活動の拠点整備が進められることになりました。平成18年度から23年度を計画期間とする第3次茅ヶ崎市地域福祉活動計画の重点的な取り組みに位置づけられ、また、平成19年度からは、名称を地域福祉活動支援事業として、対象を高齢者以外にも広げて進められています。

この流れを受け、地区社協及び地区社協連絡協議会では、それぞれの地区でのニーズを把握しながら、地区住民の生活を地区住民同士で支え合うための支援体制構築に向けて検討を重ね、地区ボランティアセンターの実施主体として、活動の立ち上げに順次取り組んできました。

### ○けん引役の育成 ～地域福祉の担い手育成推進委員会～

地区社協連絡協議会と市社協では、地区ボランティアセンターの活動を各地区へ広めるため検討を行ってきました。平成18年12月に市社協が神奈川県社協のモデル指定を受け

「地域福祉の担い手育成推進委員会」を開始しました。

この取り組みは、各地区社協から2名ずつ委員を推薦し、年間を通じて「地区活動の必要性」や「制度等を活用する力」、「身近な地区での課題を把握する視点」などを学び、地区での福祉活動のけん引役を育成しました。この委員が中心となって地区ボランティアセンターの設置が促進されました。平成25年度末までに125名が委員会を修了し、各地区で活躍されています。

### ○地区ボランティアセンター連絡会

平成24年7月に全12地区で地区ボランティアセンター活動が開始されたことに伴い、それぞれの地区での課題を共有し、より良い活動につなげるために地区ボランティアセンター連絡会を始めました。また、挙げられたテーマから研修会も開催しています。

### ○茅ヶ崎市コーディネーター配置事業

第2期茅ヶ崎市地域福祉計画の重点プロジェクトとして平成23年2月より福祉なんでも相談を開始し、地区ボランティアセンター、市社協、福祉相談室（地域包括支援センター内）の三者が地区支援チームを組み、連携して課題解決にあたっています。浜須賀地区と湘北地区がモデル地区となり取り組みを進めています。

### ○今後の展開

地区ボランティアセンターの活動により、これまで地区社協に関わりの無かった地域住民の方が、ボランティアとして関わるようになりました。一方で、立ち上げ当初から関わる方もその分年齢を重ねており、安定した活動を行うためにも後継者の育成が重要となります。

また、地域の困りごとを受け止める中で、地区だけでは解決が難しい相談も増えていきます。そこで、解決に向けたネットワークの構築や新たな支援内容の検討が必要となります。

これについて地区社協連絡協議会では、各地区がより良い活動を進められるよう、市社協等とともに研修の機会などを設け、地区社協の支援にあたります。

●●●平成25年度地区ボランティアセンター活動の実績●●●

地 区	茅ヶ崎	南 湖	海 岸	鶴 嶺 東
活 動 名	ボランティアセンター ちがさき	南 湖 ボランティアセンター	ボランティアセンター 海 岸	つるみね東 ボランティアセンター
活 動 開 始	平成24.7.3	平成23.4.5	平成23.10.31	平成22.7.27
活 動 登 録 者	142	116	71	92
コ-テ`ィネ-ター	17	9	14	15
活 動 件 数	345	124	255	311
延 べ 時 間	973	516	604	808

地 区	鶴 嶺 西	湘 南	松 林	湘 北
活 動 名	つるみね西 ボランティアセンター	ボランティアセンター湘南 ハート&ハート	ふれあい支えあい 松林サポートセンター	湘 北 地 区 ボランティアセンター
活 動 開 始	平成21.1.19	平成24.4.2	平成21.3.31	平成15.9.21
活 動 登 録 者	40	58	106	32
コ-テ`ィネ-ター	16	7	11	10
活 動 件 数	350	609	265	198
延 べ 時 間	568	1,069	696	343.5

地 区	小 和 田	松 浪	浜 須 賀	小 出
活 動 名	みんなのこわだ ボランティアセンター	まつなみ ボランティアセンター	サポ-ト はますか	小 出 ボランティアセンター
活 動 開 始	平成20.7.1	平成16.6.1	平成15.6.3	平成21.11.3
活 動 登 録 者	64	27	56	74
コ-テ`ィネ-ター	6	3	18	13
活 動 件 数	182	552	419	276
延 べ 時 間	359	1,186	1,148	1,763.25

合 計	
活動登録者	878人
コ-テ`ィネ-ター	139人
活動件数	3,886件
延べ時間	10,033.75時間

●●● 主な事業・活動概要 ●●●

年 月 日	主 な 事 業
昭和56年度 10月14日	松浪地区社協発足
昭和58年度 10月27日 1月30日 2月12日 2月14日 3月24日	茅ヶ崎地区社協発足 松林地区社協発足 小和田地区社協発足 海岸地区社協発足 湘南地区社協発足
昭和59年度 6月～7月 8月1日 12月3日 2月16日 3月11日	地区社協広報づくり実務者講習会（全5回） 鶴嶺地区社協発足 7地区（松浪、茅ヶ崎、松林、小和田、海岸、湘南、鶴嶺）で連絡協議会を設立した。 南湖地区社協発足 地区社協連絡協議会
昭和60年度 5月9日 6月～7月 7月23日 7月25日 2月～3月 2月22日 3月20日	地区社協連絡協議会 調査活動実務者研修会（全4回） 浜須賀地区社協発足 講演会「老いて男の自立」 地域福祉活動研修会（全3回） 小出地区社協発足 地区社協連絡協議会 各地区社協活動報告及び情報交換
昭和61年度 5月21日 7月13日 7月17日 7月18日 11月10日 11月14日	地区社協連絡協議会 湘北地区社協発足。全地区に地区社協が結成された。 16ミリ映写技術講習会 講師：神奈川県映画教育協会 武部 志郎 氏 地区社協連絡協議会 視察研修（鎌倉市社協） 「ニード対応チームについて・地区ボランティアセンターについて」

年 月 日	主 な 事 業
3月19日	研修会 「地区社協活動に期待するもの」 講師：川崎市愛泉ホーム事業課長 佐野 英司 氏
昭和62年度	
5月19日	地区社協連絡協議会
9月～11月	広報紙編集講習会（全8回） 講師：編集経験者 鈴木 政子 氏 グラフィックデザイナー 足立 秀夫 氏
2月23日	16ミリ映写技術講習会
2月24日	講師：神奈川県映画教育協会 武部 志郎 氏
3月28日	地区社協連絡協議会
昭和63年度	
10月28日	研修会（全3回）
11月4日	「地域に隠された福祉問題を考える－生活と地域を見る目－」
11月14日	「地域の生活課題と解決の方法－沢内村の地域づくりの例をとおして－」 「地域の福祉問題をどう把握するのか－世田谷区・小金井市の調査をとおして－」 講師：明治学院大学 助教授 河合 克義 氏
3月24日	視察研修（横須賀市武山地区社協）
平成元年度	
5月27日	地区社協連絡協議会
10月20日	事例発表 鶴嶺地区社協「つるみねクラブの活動について」 松林地区社協「独居老人給食サービス・ふれあい運動会の活動について」 助言者：関東学院大学教授 谷口 政隆 氏
1月31日	視察研修（大和市渋谷西地区社協） 「渋谷西地区社協の活動について・大和市保健福祉センター見学」
2月14日	地区社協連絡協議会
3月6日	事例発表 湘南地区社協「いこいの部屋の活動について」 松浪地区社協「老人惣菜づくり教室の活動について」 助言者：関東学院大学教授 谷口 政隆 氏
平成2年度	
5月23日	地区社協連絡協議会
6月28日	地区社協連絡協議会

年 月 日	主 な 事 業
7月20日	事例発表 南湖地区「福祉袋配布活動にていて」 小和田地区「宅配給食活動について」 助言者：日本女子大学教授 谷口 政隆 氏
9月7日	視察研修（横須賀市大津地区社協）
1月29日	研修会（全2回）
2月21日	「地区福祉活動計画のたて方について①」 「地区福祉活動計画のたて方について②」 講師：緑陽園施設長 佐野 英司 氏
平成3年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅老人等給食サービスが湘南、湘北の2地区で開始された。</li> <li>●9地区（茅ヶ崎・南湖・海岸・松林・湘北・小和田・松浪・浜須賀・小出）で車椅子の貸出を開始した。</li> </ul>
7月22日	事例発表 海岸地区「ふれあいの集いについて」 浜須賀地区「老人給食会とボランティア活動について」 助言者：明治学院大学教授 濱野 一郎 氏
9月19日	視察研修（相模原市大野南地区社協）
11月25日	事例発表 茅ヶ崎地区「老人に励みと思いやり」 小出地区「映画とお食事会について」 湘北地区「一人暮らし老人の料理教室と託老の集いについて」
12月12日	懇談会
平成4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●在宅老人等給食サービスが南湖地区で開始された。</li> <li>●全地区で車椅子の貸出を開始した。</li> </ul>
5月18日	全員協議会
7月21日	研修会（全2回）
7月30日	「地区社協における広報のあり方について」 ①一人をその気にさせる 広報のABCー」 「地区社協における広報のあり方について」 ②ー広報紙づくりのコツとツボー」 講師：福祉教育研究会主宰 木原 孝久 氏
8月27日	リーダー研修会 「地区社協の活動について」 講師：県社協地域課長 徳久 和彦 氏

年 月 日	主 な 事 業
11月19日 11月20日 2月10日 3月24日	研修会 茅ヶ崎市の福祉事業について社会福祉部長と懇談 施設研修会 ふれあいの森の概要及び施設見学 全員協議会
平成5年度  5月17日 6月28日 7月8日  10月7日 11月26日 11月27日 12月6日	●在宅老人等給食サービスが小和田、松林、鶴嶺地区で開始された。 全員協議会 行政との懇談会 事例発表 「宅配給食サービスについて」 湘北地区、湘南地区、南湖地区 視察研修（横須賀市） 「横須賀市立総合福祉会館の概要及び見学」 視察研修（平塚市） 「平塚市における地区社協の活動及び市社協の地区社協育成について」 リーダー研修会 「地域と保健所のかかわりについて」 講師：県茅ヶ崎保健所 鈴木 純子 氏
平成6年度  5月30日 6月29日 7月26日  11月30日 12月1日 12月8日 1月25日	●在宅老人等給食サービスが茅ヶ崎、海岸、浜須賀、松浪、小出地区で開始され、全地区で給食サービスが実施された。 全員協議会 行政との懇談会 リーダー研修会 「在宅老人等給食サービス事業について」 視察研修（小田原市富水地区社協） 12月1日 視察研修（鎌倉市第三地区社協） 12月8日 全員協議会 1月25日
平成7年度 5月15日 7月10日 8月29日	全員協議会 行政との懇談会 リーダー研修・事例発表 「在宅福祉を中心とした地区社協の在り方」 南湖地区、湘北地区、浜須賀地区

年 月 日	主 な 事 業
10月25日	視察研修（藤沢市社協・横須賀市社協） 「給食サービス事業について」
12月13日	研修会
12月14日	「これからの地区活動と社協の役割」 講師：県社協地域福祉部長 熊谷 豊壽 氏
2月21日	視察研修（大和市社協） 「大和市社協の概要について・大和市における地区社協活動の概要について・ふれあい訪問事業の概要について・渋谷西地区社協の実践から」
平成8年度	
	●在宅老人等給食サービスが週2回から週4回に拡大された。
6月1日	鶴嶺地区社協東西に分離
6月12日	全員協議会
7月11日	行政との懇談会
8月26日	リーダー研修・事例発表 鶴嶺東地区社協、松林地区社協、小出地区社協
11月29日	賛助会員のつどい 「地域福祉について」 講師：白梅学園短期大学教授 佐野 英司 氏
12月17日	視察研修（小田原市社協）
12月18日	「会費の徴収について・給食サービスについて」
2月19日	研修会 「日常生活圏域における地区社協の役割と活動推進について」 講師：県社協地域福祉部長 熊谷 豊壽 氏
平成9年度	
5月22日	全員協議会
7月9日	行政との懇談会
9月18日	リーダー研修・事例発表 茅ヶ崎地区社協、鶴嶺西地区社協、湘南地区社協
9月29日	市議会議員（環境厚生常任委員）との懇談会
12月12日	視察研修（開成町社協）
12月13日	「開成町の概況について・町社協の小地区活動推進への取組み経過及び現況等について」
1月16日	結成15周年記念映画会 上映作品「スキヤキ」 監督：すずき じゅんいち 主演：関谷 理香

年 月 日	主 な 事 業
1月22日	賛助会員のつどい 「わたしたちの生活と社会福祉」 講師：明治学院大学教授 北川 清一 氏
3月25日	宅配給食懇談会
平成10年度	
5月21日	全員協議会
7月13日	民生委員児童委員協議会との懇談会
10月9日	研修会 「これからの地区社協の役割」 講師：明治学院大学教授 濱野 一郎 氏
12月17日	視察研修（横浜市磯子区洋光台地区社協） 「コミベン110番について」
3月26日	民生委員児童委員協議会との懇談会
平成11年度	
5月20日	全員協議会
6月25日	行政との懇談会
7月19日	全員協議会
8月24日	研修会 「社会福祉基礎構造改革と地域活動について」 講師：県社協地域福祉課長 山口 正一 氏
9月29日	研修会 「介護保険制度について」 講師：市介護保険課長 小山 明 氏
11月5日	市議会議員との懇談会
12月17日	視察研修（横須賀市武山地区社協） 「横須賀武山地区ボランティアセンターの活動状況について」
1月13日	ボランティア連絡会との懇談会
2月21日	給食懇談会
平成12年度	
5月19日	全員協議会
7月19日	行政との懇談会
9月19日	研修会 「新しい福祉の流れの中での地区社協—社会福祉制度改革と私たちの暮らし—」 講師：白梅学園短期大学教授 佐野 英司 氏

年 月 日	主 な 事 業
11月10日	事例発表 海岸地区社協「福祉サロン海岸について」 湘北地区社協「子育て支援について」
12月21日	視察研修（鎌倉市社協）
12月22日	「鎌倉市社協会員について・介護保険事業について」
2月23日	宅配給食説明会
3月19日	研修会 「新しい福祉の流れと地区社協活動—地域の福祉課代を考える視点—」 講師：明治学院大学教授 河合 克義 氏
平成13年度	●10月1日より、地区社協が配食を行っていた給食サービスが調理業者から直接利用者宅に配食する方法に変更された。
5月17日	全員協議会
7月24日	行政との懇談会
8月27日	研修会 「介護保険の1年半と地域福祉—在宅介護支援センター等の相談事業を通して地域の人々の暮らしを考える—」 発言者：在宅介護支援センター職員 ふれあいの森 ソーシャルワーカー 島村 真生 氏 アザリアホーム ソーシャルワーカー 鈴木 慶太 氏 風 所長 和田 清 氏 茅ヶ崎駅前ケアプラザ 太田 雅世 氏 市社協 田中 有希子 氏 助言者：ふれあいの森施設長 福島 廣子 氏
9月28日	事例発表 松浪地区社協「この指とまれ」 浜須賀地区社協「ふれあい昼食会」
12月5日	視察研修（静岡県沼津市社協）
12月6日	「地区社協活動の新たな展望について」
2月5日	研修会 「精神障害者と地域生活における支援について」 講師：けやきの森病院医師 阿部 学 氏 「精神障害者との具体的な関わり方について」 講師：けやきの森病院ケースワーカー 甲斐 洋介 氏
2月25日	民生委員児童委員協議会との懇談会

年 月 日	主 な 事 業
<p>平成14年度</p> <p>5月20日</p> <p>7月24日</p> <p>8月23日</p> <p>10月17日</p> <p>12月17日</p> <p>12月18日</p> <p>2月27日</p>	<p>全員協議会</p> <p>行政との懇談会</p> <p>研修会</p> <p>「小地域福祉活動の推進と地区社協の役割」 講師：神奈川大学教授 横倉 節夫 氏</p> <p>事例発表</p> <p>湘北地区社協「松風台社協について―自治会単位の地域社協活動―」</p> <p>小出地区社協「ほのぼの小出―ミニデイサービスの活動に至った経緯―」</p> <p>視察研修（横浜市旭区若葉台地区社協）</p> <p>「若葉台団地での地域の問題解決の試みについて」</p> <p>視察研修受入れ（千葉県浦安市社協）</p> <p>「地区社協設置の経緯について・組織事務局運営体制及び活動内容等について」</p>
<p>平成15年度</p> <p>5月20日</p> <p>7月29日</p> <p>8月27日</p> <p>10月20日</p> <p>12月11日</p> <p>12月12日</p> <p>2月1日</p>	<p>●地区ボランティアセンター開始（サポートはますか、湘北地区ボランティアセンター）</p> <p>全員協議会</p> <p>行政との懇談会</p> <p>研修会</p> <p>「小地域活動の推進と地区社協の役割」 講師：法政大学助教授 宮城 孝 氏</p> <p>事例発表</p> <p>湘北地区社協「湘北地区ボランティアセンターについて」</p> <p>浜須賀地区社協「サポートはますかについて」</p> <p>視察研修（鎌倉市腰越地区社協）</p> <p>「腰越地区ボランティアセンターについて」</p> <p>20周年記念式典</p> <p>「連絡協のあゆみ ― 創立20周年記念誌 ―」の発行</p>
<p>平成16年度</p> <p>5月20日</p> <p>7月26日</p> <p>8月30日</p>	<p>●地区ボランティアセンター開始（まつなみボランティアセンター）</p> <p>全員協議会</p> <p>行政との懇談会</p> <p>研修会</p> <p>「住む人にやさしい支えあいをもとめて」 講師：相模原市光が丘地区社会福祉協議会</p>

年 月 日	主 な 事 業
10月27日	事例発表 浜須賀地区社協「住んでいてよかったまちはますか」 湘北地区社協「ボランティアセンターの設置と運営について」 松浪地区社協「まつなみ地区ボランティアセンターの運営について」
12月16日	視察研修（横須賀市社会福祉協議会）
12月17日	「地区（北下浦・追浜・浦賀）ボランティアセンターについて」
3月10日	研修会 「介護予防について～転倒骨折予防教室～」 講師：かながわ健康財団 高垣 茂子 氏
平成17年度	
5月20日	全員協議会
8月2日	行政との懇談会
8月22日	研修会 「地域福祉計画と地域福祉活動計画」 講師：茅ヶ崎市社会福祉協議会理事 島村 俊夫 氏
	「茅ヶ崎市地域福祉計画について」
	講師：茅ヶ崎市保健福祉総務課 松下 晃久 氏
	「茅ヶ崎市地域福祉活動計画について」
	講師：茅ヶ崎市社会福祉協議会 加藤 絵里 氏
10月27日	事例発表 「家事支援を中心とした20年のあゆみ」 社会福祉つるみねクラブ 代表 布施 久子 氏
	「陽だまりの会の活動について」
	陽だまりの会 代表 早野 悦子 氏
12月8日	視察研修（静岡県清水区辻地区社会福祉協議会）
12月9日	「辻地区社会福祉協議会の活動について」
3月10日	研修会 「茅ヶ崎市地域福祉計画の進捗状況について」 講師：茅ヶ崎市保健福祉総務課 近藤 健二 氏
平成18年度	
	●地域福祉の担い手育成推進委員会開始
5月19日	全員協議会
7月27日	行政との懇談会
9月6日	研修会 「第3次茅ヶ崎市地域福祉活動計画について」 講師：茅ヶ崎市社会福祉協議会 加藤 絵里 氏

年 月 日	主 な 事 業
10月25日	事例発表 「湘北地区の地域福祉活動について」 湘北地区社協会長 青木 有俱 氏 1) 香川地域社協お楽しみ会について 長谷川 泉太郎 氏 2) 鶴が台評議員会の活動について 南雲 恵子 氏
12月14日	視察研修（南足柄市社会福祉協議会）
12月15日	「地域福祉コーディネーター活動モデル事業について」 講師：神奈川県社会福祉協議会 高橋 元央 氏 「南足柄の取組みについて」 講師：南足柄市社会福祉協議会 吉田 修平 氏 「茅ヶ崎の取組みについて」 講師：茅ヶ崎市社会福祉協議会 加藤 絵里 氏
2月26日	研修会 「各地区社協の状況について」 意見交換
平成19年度	
5月18日	全員協議会
7月24日	行政との懇談会
9月21日	研修会 「地域福祉と障害者の理解」 講師：岩手県立大学看護学部教授 菊池 謙一郎 氏
10月19日	事例発表 「サポートはますかについて」 報告者：習田 祐子 氏 「まつなみボランティアセンターについて」 報告者：兵藤 昌也 氏
11月29日	視察研修（習志野市社会福祉協議会）
11月30日	「習志野市社会福祉協議会秋津支部社協の活動について」

年 月 日	主 な 事 業
2月25日	研修会 第1部 テーマ 「お口の健口体操」について 講 師：茅ヶ崎保健福祉事務所 高野 敬子 氏 第2部 意見交換 地区ボランティアセンター等について 情報提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ボランティアセンターについて 茅ヶ崎市社会福祉協議会 事務局長 佐藤 和親 氏</li> <li>・シルバー人材センターについて 茅ヶ崎市シルバー人材センター 事務局長 湯澤 庸則 氏</li> <li>・地域包括支援センターについて 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 白井 且久 氏 茅ヶ崎市高齢福祉介護課 門倉 裕宣 氏</li> </ul>
平成20年度	●地区ボランティアセンター開始（みんなのこわだボランティアセンター、つるみね西ボランティアセンター、松林サポートセンター）
5月20日	全員協議会
7月25日	行政との懇談会
9月8日	研修会
	講義「地域福祉、地区社協活動について」 講師：豊田 宗裕氏 （横浜国際福祉専門学校校長、茅ヶ崎市地域福祉計画推進委員会委員長） グループワーク <ol style="list-style-type: none"> <li>①ボランティアセンターについて</li> <li>②ボランティア育成と人材の確保について</li> <li>③地区社協活動の周知について</li> <li>④地区内の他団体等との連携・協力</li> <li>⑤地区社協の財政について</li> <li>⑥地域福祉活動における地区社協の役割について</li> </ol>
10月19日	事例発表 「みんなのこわだボランティアセンターについて」 報告者 小和田地区社協 「つるみね西ボランティアセンターについて」 報告者 鶴嶺西地区社協
11月27日	視察研修（浜松市富塚地区社会福祉協議会）
11月28日	「富塚地区社会福祉協議会の活動について」

年 月 日	主 な 事 業
2月18日	研修会 意見交換 ・ネットワークづくりについて（湘北地区社協） ・人材育成について（鶴嶺東地区社協） ・地区社協の運営（メンバー構成等）について（松林地区社協）
平成21年度	●地区ボランティアセンター開始（小出ボランティアセンター）
5月20日	全員協議会
7月23日	行政との懇談会
8月24日	研修会
	テーマ「'09これからの地域福祉と地区社協活動について」 （1）話題提供 茅ヶ崎市社会福祉協議会 横山 康洋 氏 （2）グループワーク ① 地区ボランティアセンターについて ② ボランティア育成と人材の確保について ③ 地区社協活動の周知について ④ 地区内の他団体等との連携・協力 ⑤ 地区社協の財政について ⑥ 地域福祉活動における地区社協の役割について （3）グループ発表 （4）講評 地区社会福祉協議会連絡協議会会長 溝口 優子 氏
10月27日	事例発表 「松林サポートセンターについて」 報告者 松林地区社協 「福祉なんでも相談について」 報告者 松浪地区社協
11月26日	視察研修（横浜市緑区東本郷地区社会福祉協議会） 東本郷地区社会福祉協議会の活動について（主に送迎活動等について）
2月19日	研修会 「第2期茅ヶ崎市地域福祉計画について」 講師：茅ヶ崎市保健福祉部福祉総務課 木村 英知 氏、松下 晃久 氏
平成22年度	●地区ボランティアセンター開始（つるみね東ボランティアセンター） ●茅ヶ崎市コーディネーター配置事業開始（湘北地区、浜須賀地区）
5月20日	全員協議会
7月21日	行政との懇談会

年 月 日	主 な 事 業
8月23日	研修会 テーマ「送迎について」 (1) 福祉有償運送について (制度概要) 茅ヶ崎市社会福祉協議会 事務局次長 北沢 一郎 氏 (2) サービス内容及び現状と課題等について ・市社協ハンディキャブ・個人送迎ボランティアについて 茅ヶ崎市社会福祉協議会 丸山 武 氏 ・特定非営利活動法人湘南シニアサービスの活動について 湘南シニアサービス責任者 山上 直人 氏
10月27日	事例発表 「小出ボランティアセンター」立ち上げの経過報告 ～住みやすい地域は支え合いから～ 報告者 小出地区社協 「つるみね東ボランティアセンター」 ～設立までの軌跡～ 報告者 鶴嶺東地区社協
11月15日	視察研修 (中井やまゆり園)
11月16日	(1) 中井やまゆり園について (2) 発達障害について
2月27日	研修会 テーマ 第4次茅ヶ崎市地域福祉活動計画について コーディネーター 島村 俊夫 氏 (茅ヶ崎市地域福祉活動計画推進委員会委員長) 報告者 茅ヶ崎市社会福祉協議会 加藤 絵里 氏、横山 康洋 氏
平成23年度	●地区ボランティアセンター開始 (南湖ボランティアセンター、ボランティアセンター海岸)
5月20日	全員協議会
7月22日	行政との懇談会
8月25日	研修会 テーマ「茅ヶ崎市社会福祉協議会の事業について」 (1) 総務班の事業について 茅ヶ崎市社会福祉協議会 横山 康洋 氏 (2) 生活支援班の事業について 茅ヶ崎市社会福祉協議会 岩田 敏彦 氏 (3) 地域支援班の事業について 茅ヶ崎市社会福祉協議会 加藤 絵里 氏

年 月 日	主 な 事 業
10月24日	事例発表 「南湖地区ボランティアセンターについて」 報告者 南湖地区社協 「地域福祉総合相談室について」 報告者 茅ヶ崎市保健福祉部保健福祉課 報告者 茅ヶ崎市地域福祉総合相談室
11月14日	視察研修（厚木市 七沢更生ライトホーム） 七沢更生ライトホームについて
3月2日	研修会 テーマ「住み慣れたまちの地域福祉を考える地区懇談会について」 (1) 懇談会の趣旨及びこれまでの実績等について 茅ヶ崎市保健福祉課 柳下 元邦 氏 (2) 実施報告 報告者 浜須賀地区社協 報告者 鶴嶺東地区社協
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地区ボランティアセンター開始（ボランティアセンター湘南、ボランティアセンターちがさき）</li> <li>●地区ボランティアセンター連絡会開始</li> </ul>
5月18日	全員協議会
7月30日	行政との懇談会
8月27日	研修会 テーマ「各地区社会福祉協議会の運営・事業について」 (1) 資料説明 (2) 各地区の状況について (3) 意見交換
10月22日	事例発表 1) ボランティアセンター海岸について 報告者 海岸地区社協 2) ボランティアセンター湘南 ハート&ハートについて 報告者 湘南地区社協 3) ボランティアセンターちがさきについて 報告者 茅ヶ崎地区社協
11月12日	視察研修（山梨県南アルプス市社会福祉協議会）
11月13日	南アルプス市社協ほか
2月25日	研修会 テーマ「南湖地区・災害時安全確認制度」 講師：南湖地区社協

年 月 日	主 な 事 業
<p>平成25年度</p> <p>5月20日</p> <p>7月30日</p> <p>8月26日</p> <p>10月22日</p> <p>11月25日</p> <p>2月24日</p>	<p>全員協議会</p> <p>行政との懇談会</p> <p>研修会 テーマ「地域福祉・地区活動について」 講師：牧岡 英夫 氏</p> <p>事例発表 「茅ヶ崎市コーディネーター配置事業」について 浜須賀地区支援チーム、湘北地区支援チーム</p> <p>視察研修（横浜市港南区社会福祉協議会） 「横浜市港南区社会福祉協議会における地域福祉の推進について」 地域福祉活動拠点くじらの館</p> <p>研修会 (1) 講義「地域包括支援センター及び地域福祉総合相談室の役割等について」 講師：地域包括支援センター 地域福祉総合相談室 青空 山崎 宏和 氏</p> <p>(2) 情報交換 ① 各包括・福祉相談室からのひと言 ② 地区別情報交換</p>
<p>平成26年度</p> <p>5月20日</p> <p>7月30日</p> <p>8月29日</p> <p>10月27日</p> <p>11月29日</p>	<p>全員協議会</p> <p>行政との懇談会</p> <p>研修会「茅ヶ崎市コーディネーター配置事業」について 講師：茅ヶ崎市保健福祉課、湘北地区支援チーム、 浜須賀地区支援チーム</p> <p>事例発表 「福祉マップについて」 報告者 小和田地区社協 報告者 南湖地区社協</p> <p>30周年記念式典 「連絡協のあゆみ ― 創立30周年記念誌 ―」の発行</p>

●●● 茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会歴代会長・副会長名簿 ●●●

年 度	会 長		副 会 長			
	地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名
昭和59年度	松 浪	巢 籠 徳治郎	茅ヶ崎	鈴 木 正 雄	鶴 嶺	小 山 英 博
昭和60年度	松 浪	巢 籠 徳治郎	茅ヶ崎	鈴 木 正 雄	鶴 嶺	小 山 英 博
昭和61年度	茅ヶ崎	鈴 木 正 雄	南 湖	鈴 木 栄	鶴 嶺	小 山 英 博
昭和62年度	茅ヶ崎	鈴 木 正 雄	小 出	相 田 文 治	鶴 嶺	小 山 英 博
昭和63年度	茅ヶ崎	鈴 木 正 雄	小 出	相 田 文 治	鶴 嶺	小 山 英 博
平成元年度	南 湖	鈴 木 栄	小 出	相 田 文 治	鶴 嶺	小 山 英 博
平成2年度	南 湖	鈴 木 栄	小 出	相 田 文 治	鶴 嶺	小 山 英 博
平成3年度	南 湖	鈴 木 栄	小和田	柳 平 吉	湘 南	大野木 福太郎
平成4年度	南 湖	鈴 木 栄	小和田	柳 平 吉	湘 南	羽 切 信 夫
平成5年度	小和田	柳 平 吉	海 岸	有 坂 孝 一	浜須賀	青 木 三 郎
平成6年度	小和田	柳 平 吉	海 岸	有 坂 孝 一	浜須賀	青 木 三 郎
平成7年度	浜須賀	青 木 三 郎	茅ヶ崎	山 下 信 司	湘 南	羽 切 信 夫
平成8年度	浜須賀	青 木 三 郎	茅ヶ崎	山 下 信 司	湘 南	羽 切 信 夫
平成9年度	松 林	加 藤 博 二	湘 南	羽 切 信 夫	湘 北	森 潔
平成10年度	松 林	加 藤 博 二	湘 南	羽 切 信 夫	湘 北	森 潔
平成11年度	湘 北	森 潔	茅ヶ崎	井 上 育	松 浪	山 中 功
平成12年度	湘 北	森 潔	茅ヶ崎	井 上 育	松 浪	山 中 功
平成13年度	茅ヶ崎	井 上 育	海 岸	千 葉 俊 夫	小 出	矢 野 福 徳
平成14年度	茅ヶ崎	井 上 育	海 岸	千 葉 俊 夫	小 出	矢 野 福 徳

年 度	会 長		副 会 長			
	地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名
平成15年度	小 出	矢 野 福 徳	海 岸	千 葉 俊 夫	鶴 嶺 東	大 矢 修
平成16年度	小 出	矢 野 福 徳	南 湖	大 谷 昭 一	鶴 嶺 東	大 矢 修
平成17年度	鶴 嶺 東	大 矢 修	南 湖	大 谷 昭 一	松 浪	溝 口 優 子
平成18年度	鶴 嶺 東	大 矢 修	南 湖	大 谷 昭 一	松 浪	溝 口 優 子
平成19年度	南 湖	大 谷 昭 一	浜 須 賀	古 谷 宏	松 浪	溝 口 優 子
平成20年度	南 湖	大 谷 昭 一	浜 須 賀	古 谷 宏	松 浪	溝 口 優 子
平成21年度	松 浪	溝 口 優 子	浜 須 賀	古 谷 宏	湘 北	青 木 有 俱
平成22年度	松 浪	溝 口 優 子	浜 須 賀	古 谷 宏	湘 北	青 木 有 俱
平成23年度	浜 須 賀	古 谷 宏	湘 北	青 木 有 俱	松 林	浅 岡 肇
平成24年度	浜 須 賀	古 谷 宏	松 林	浅 岡 肇	鶴 嶺 西	福 村 正 之
平成25年度	松 林	浅 岡 肇	鶴 嶺 西	福 村 正 之	小 出	五十嵐 清夫
平成26年度	松 林	浅 岡 肇	小 出	五十嵐 清夫	南 湖	亀 山 計 次

●●● 地区社会福祉協議会歴代会長名簿 ●●●

地区 年度	茅ヶ崎	南 湖	海 岸	鶴 嶺 東	鶴 嶺 西	湘 南
昭和58年度	鈴木正雄		佐々木周一			須藤織長
昭和59年度	鈴木正雄	鈴木栄	佐々木周一	小山英博		須藤織長
昭和60年度	鈴木正雄	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		須藤織長
昭和61年度	鈴木正雄	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		須藤織長
昭和62年度	鈴木正雄	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		須藤織長
昭和63年度	鈴木正雄	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		根岸義男
平成元年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		根岸義男
平成2年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		大野木福太郎
平成3年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	小山英博		大野木福太郎
平成4年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	加藤一之		羽切信夫
平成5年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	加藤一之		羽切信夫
平成6年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	加藤一之		羽切信夫
平成7年度	山下信司	鈴木栄	有坂孝一	加藤一之		羽切信夫
平成8年度	山下信司	鈴木栄	大木健八郎	渡辺 庶	山宮龍雄	羽切信夫
平成9年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	渡辺 庶	山宮龍雄	羽切信夫
平成10年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	岩澤貞吉	井出精一	羽切信夫
平成11年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	岩澤貞吉	井出精一	羽切信夫
平成12年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	大矢 修	井出精一	羽切信夫
平成13年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	大矢 修	井出精一	羽切信夫
平成14年度	井上 育	鈴木栄	千葉俊夫	大矢 修	朝倉武雄	山口次縉
平成15年度	井上 育	大谷昭一	千葉俊夫	大矢 修	朝倉武雄	山口次縉
平成16年度	井上 育	大谷昭一	斉藤清	大矢 修	渋谷光雄	岡田正義
平成17年度	鈴木寿雄	大谷昭一	斉藤清	大矢 修	渋谷光雄	岡田正義
平成18年度	鈴木寿雄	大谷昭一	斉藤清	大矢 修	加賀谷清美	岡田正義
平成19年度	鈴木寿雄	大谷昭一	斉藤清	大矢 修	加賀谷清美	竹本 實
平成20年度	鈴木寿雄	大谷昭一	岡本一雄	小島逸雄	福村正之	杉山 全
平成21年度	鈴木寿雄	大谷昭一	岡本一雄	小島逸雄	福村正之	杉山 全
平成22年度	鈴木寿雄	亀山計次	島田俊夫	小島逸雄	福村正之	安丸元一
平成23年度	鈴木寿雄	亀山計次	島田俊夫	小島逸雄	福村正之	安丸元一
平成24年度	鈴木寿雄	亀山計次	島田俊夫	米山市朗	福村正之	小谷 勳
平成25年度	鈴木寿雄	亀山計次	島田俊夫	米山市朗	福村正之	小谷 勳
平成26年度	鈴木寿雄	亀山計次	鈴木鹿隆司	齋藤直樹	中嶋皓夫	小谷 勳

地区 年度	松 林	湘 北	小 和 田	松 浪	浜 須 賀	小 出
昭和58年度	三 浦 正 俊		日 比 正 雄	(昭和56年度～) 巢 籠 徳治郎		
昭和59年度	三 浦 正 俊		日 比 正 雄	巢 籠 徳治郎		
昭和60年度	高 橋 益 雄		日 比 正 雄	巢 籠 徳治郎	青 木 三 郎	相 田 文 治
昭和61年度	高 橋 益 雄	熊 沢 幸 一	日 比 正 雄	巢 籠 徳治郎	青 木 三 郎	相 田 文 治
昭和62年度	高 橋 益 雄	熊 沢 幸 一	日 比 正 雄	巢 籠 徳治郎	青 木 三 郎	相 田 文 治
昭和63年度	大 木 善 吉	浜 村 高 登	窪 達 也	巢 籠 徳治郎	青 木 三 郎	相 田 文 治
平成元年度	大 木 善 吉	長谷川 清 久	柳 平 吉	巢 籠 徳治郎	青 木 三 郎	相 田 文 治
平成2年度	大 木 善 吉	長谷川 清 久	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	相 田 文 治
平成3年度	大 木 善 吉	長谷川 清 久	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	相 田 文 治
平成4年度	加 藤 博 二	石 川 ヨスエ	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	相 田 文 治
平成5年度	加 藤 博 二	沼上伊次郎	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成6年度	加 藤 博 二	沼上伊次郎	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成7年度	加 藤 博 二	沼上伊次郎	柳 平 吉	城 田 要 子	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成8年度	加 藤 博 二	沼上伊次郎	柳 平 吉	鈴 切 林	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成9年度	加 藤 博 二	森 潔	柳 平 吉	鈴 切 林	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成10年度	加 藤 博 二	森 潔	柳 平 吉	山 中 功	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成11年度	加 藤 博 二	森 潔	柳 平 吉	山 中 功	青 木 三 郎	浅 田 正 允
平成12年度	加 藤 博 二	森 潔	柳 平 吉	山 中 功	青 木 三 郎	矢 野 福 徳
平成13年度	加 藤 博 二	森 潔	柳 平 吉	田部井 敬 夫	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成14年度	大 山 末 義	森 潔	柳 平 吉	田部井 敬 夫	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成15年度	大 山 末 義	森 潔	柳 平 吉	田部井 敬 夫	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成16年度	大 山 末 義	森 潔	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成17年度	大 山 末 義	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成18年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成19年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成20年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成21年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	矢 野 福 徳
平成22年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	五十嵐 清 夫
平成23年度	浅 岡 肇	青 木 有 俱	柳 平 吉	溝 口 優 子	古 谷 宏	五十嵐 清 夫
平成24年度	浅 岡 肇	吉 田 正 一	八 幡 弘 徳	田 島 洋 子	古 谷 宏	五十嵐 清 夫
平成25年度	浅 岡 肇	吉 田 正 一	八 幡 弘 徳	田 島 洋 子	古 谷 宏	五十嵐 清 夫
平成26年度	浅 岡 肇	吉 田 正 一	小 川 英 男	坂 井 修 一	古 谷 宏	五十嵐 清 夫

# ●●● 茅ヶ崎市地区社会福祉協議会規約 ●●●

(名称及び事務局)

第1条 本会は、茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会という。

第2条 本会は、事務局を茅ヶ崎市新栄町13番44号市社会福祉協議会に置く。

(目的)

第3条 本会は、市社会福祉協議会と協力を密にし、より一層、地域住民の福祉向上を図ることを目的として次の活動を行う。

- 1 社会福祉に関する調査・研究
- 2 地区社会福祉協議会相互の福祉活動に関する連絡調査・情報交換
- 3 その他、目的達成のために必要な事業

(組織・構成)

第4条 本会は、市内の地区社会福祉協議会の会長並びに副会長1名をもって組織、構成し、運営にあたる。

(役員任期及び選出方法)

第5条 本会には次の役員を置く

- 1 会長1名、副会長2名、会計1名、監事2名
- 2 会長、副会長、会計及び監事は互選とする。
- 3 会長の任期は2年とする。その他の役員任期は2年とし、2期を限度とする。
- 4 役員途中退任に伴う補充は、前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第6条 会長は、本会を代表し、会長に事故あるときは、会長があらかじめ指名する副会長が順次その職務を代理する。

(会議)

第7条 会議は、全員協議会、会長会議とし、会長が召集し、議長となる。

(会計)

- 第8条
- 1 本会の経費は会費及び補助金、その他の収入をもってあてる。
  - 2 会計年度は毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(その他)

第9条 この規約に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

附 則

この規約は、昭和59年12月3日から施行する。

附 則

この規約は、昭和61年11月10日から施行する。

附 則

この規約は、平成元年5月27日から施行する。

附 則

この規約は、平成3年4月17日から施行する。

附 則

この規約は、平成4年5月14日から施行する。

附 則

この規約は、平成5年5月14日から施行する。



●●● 連絡協の事業風景 ●●●



行政との懇談会



研修会「地域福祉、地区社協活動について」  
グループワーク



事例発表会「松林サポートセンターについて」



研修会「南湖地区・災害時安全確認制度」



視察研修「南アルプス市社協 しゃきよんの家」



視察研修「横浜市港南区社会福祉協議会」



研修会「地域包括支援センター及び地域福祉総合相談室の役割等について」「地区別の情報交換」



●●●各 地 区 社 協 の 概 要●●●

茅ヶ崎地区社会協議会

松林地区社会福祉協議会

南湖地区社会福祉協議会

湘北地区社会福祉協議会

海岸地区社会福祉協議会

小和田地区社会福祉協議会

鶴嶺東地区社会福祉協議会

松浪地区社会福祉協議会

鶴嶺西地区社会福祉協議会

浜須賀地区社会福祉協議会

湘南地区社会福祉協議会

小出地区社会福祉協議会

設立年月日：昭和58年10月27日 役員：11人 理事：34人 評議員：37人

●地区ボランティアセンター ボランティアセンターちがさき

開始年月日：平成24年7月3日 住所：元町12-8 電話・FAX：0467-58-0707

E-mail：qqut3nv9k@castle.ocn.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：24,305人 世帯数：10,928世帯 高齢化率：24.05%

自治会数：24自治会 民生委員・児童委員数：39人 サロン数：1箇所

●地勢等

JR茅ヶ崎駅を中心に、東海道本線と国道一号線を挟んで南側と北側の商店街、大型店舗、市役所、警察署、郵便局、病院、中央公園、小・中学校など公共施設も多く利便性に富んだ地域です。

●26年度の主な事業

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| (1) 定期総会の開催    | (4) 創立30周年記念広報の発行 |
| (2) 高齢者お楽しみ交流会 | (5) 第30回記念福祉まつり   |
| (3) 医師による健康講座  | (6) 9月「サロンもとまち」開設 |

●これまでの取り組み

○福祉活動を省みて

昭和58年10月、地区社協創立以来継続してきた「福祉まつり」は、今年で、30回目を迎えました。今後も継続していきます。



お茶会

創立と同時に参加した市民ふれあい祭り、平成10年から始めた野点、当初は中央公園の新緑の下で開催していたのですが、天候に左右されることと、設営が大変なために屋内に変更、また、毎年1回の日帰りバス交流の旅も楽しみの行事でしたが、これらの事業は招く方も招かれるたかも高齢化し、個人的な怪我や病気が懸念されるので現在中止しています。

さて、少子高齢化が急速に進む中、地域福祉の充実を求められる現代社会の変容ぶりはめまぐるしく、茅ヶ崎市においても「市民一人ひとりを尊重し人間らしく豊かに暮らせる街づくり」をめざして地域福祉計画の基本理念を策定し、その活動に向けてあらゆる背策が展開されています。

社協創立20周年のお祝いをしてから早10年が過ぎました。この間、地域の福祉活動だけではどうすることもできない未曾有の災害が発生しました。



バス旅行であやめ園見学

平成23年3月11日、あの日集団下校中の小学生が大地の揺れに驚いて道端に座り込んで泣き出していたことを思い出します。

テレビでは助けを叫びながら家屋とともに海に流されていく映像が報道されていました。一本の木につかまって助かった命、高台に駆け上がって助かった命、悲しくも家族や親族、そして住み慣れた家まですべて失い孤独になった子どもたち。

あれから3年以上過ぎた今も復興の見通しが遠く、放射能汚染により安住の故郷を離れて見知らぬ街の避難先で、生きる希望を失い自死を選んでいくお年寄り、支援が届かず苦しい生活に耐えている家族など本当に悲しい現実があります。



福祉まつり

福祉は誰にでも平等です。地球のどこかで限りなく続く戦争、無差別テロなど、争いあるところに平和はなく、平和のないところに福祉の輪は広がりません。

そこで今、私たちにできることは何か？お役に立てることは何か？を模索しながら日常生活の弱い立場に置かれている小さな人々に共に生きる喜びを力にしてお互いに支えあい、安全で

安心して暮らせるまちづくりに向けて先ず平和の輪を広げることから頑張っていきたいと願っております。

#### ○今後の取り組みについて

市内には12の地区社協があります。各地区社協にはボランティアセンターが開設され、活発な支援活動が実施されてきました。

しかし、茅ヶ崎地区では拠点の確保に困難を極め、平成24年7月、市内最後でしたが、「ボランティアセンターちがさき」を開設することができました。



コーディネーターのみなさん

さらに平成26年9月から「サロンもとまち」を開設しております。

引き籠りや孤立化を防ぐためにもお楽しみ会や敬老会の開催、そして年々増え続ける高齢者の困りごとなど、ボランティア支援の中でコーディネーターを通してなんでもよろず相談に対応できるよう研さんを重ね、民生委員児童委員とタイアップして利用者のニーズを尊重しながら現実の課題に取り組んでいきたいと思っています。

設立年月日：昭和60年2月16日 役員：8人 理事：24人 評議員：26人

●地区ボランティアセンター 南湖地区ボランティアセンター

開始年月日：平成23年4月1日 住所：南湖6-15-13 電話・FAX：0467-85-1510

E-mail：nango.vc@dg7.so-net.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：9,642人 世帯数：3,919世帯 高齢化率：25.25%

自治会数：6自治会 民生委員・児童委員数：16人 サロン数：2箇所

●地勢等

福祉活動の理念である、助け合い・支えあいを、各団体と地域住民が共有し、協働してとりくみ、強い絆で結ばれ、地元文化を大切に守る地域です。

「みんなでやんべえよ」の一言でまとまる南湖が好き！

●南湖地区社協も創立30周年

南湖地区社協は昭和60年2月に設立し、30周年を迎えました。

この30周年を記念して、記念誌「30年のあゆみ」及び、南湖福祉マップを制作して全戸配布しました。また、6月1日に市長をはじめ来賓や地域の福祉関係者が集まり、しおさい南湖にて記念式典と祝賀会を盛会裡に開催しました。



30周年記念式典



敬老福祉のつどい

●30年の継続事業

南湖地区敬老福祉のつどい

南湖地区社協の発足と同時に、地域づくり運営委員会の福祉事業の一環として「南湖芸能大会」が西小体育館にて実施され、社協として、高齢者を招待することからスタートしました。その後、社協の事業として「高齢者慰安会」を柳島記念館にて開催し、平成22年老人憩いの家しおさい南湖が開設したのを契機に、「南湖地区敬老福祉のつどい」として今年で30回目の開催となります。

●宅配給食事業

一人暮らしの高齢者への支援事業は今年で30回目で、この事業は南湖公民館の開設と同時に始り、当初は公民館に招いての昼食会でしたが、平成元年より対象者も増え、多くの方に行き届くように自宅への宅配に変えました。この事業は、民児協の皆さんの協力のもと実施され、多くの皆さんに感謝されています。



宅配給食づくり



サロン健康体操

●地域の絆を深める事業高齢者の交流サロン

現在、南湖地区では2か所でサロンを行っています。平成14年の地域集会施設として開設した南湖会館で、発足時から地域ボランティアの皆さんの協力を得て、毎月第2木曜日に、「南湖いこいの場」を開催し、お話会や歌や手芸等で楽しいひと時を過ごしています。

平成22年に「老人憩いの家」しおさい南湖が開設され、地域老人会と婦人会に包括支援センターの協力を得て、輪番制による企画で「しおさいサロン」を、毎月第2土曜日に開催し、茅ヶ崎体操から始まり企画イベント、カラオケ等を実施し、参加者に元気を与えています。

●南湖ボランティアセンターの活動

高齢化と核家族化は一人暮らし高齢者の増加となり、地域の助け合いのニーズが高まる中、平成23年、コーディネーター10名に、サポーター120名の参加を得て、南湖ボランティアセンターを立ち上げ活動をスタートしました。地域住民の困りごとのお手伝いを通じて福祉を届け、利用者からたくさん感謝の言葉いただきやりがいを感じています。



ボランティア作業

●その他 ・ 交流事業 南湖会館ふれあいまつり参加

南湖会館の事業として、毎年、南湖ふれあいまつりが開催され、地域団体が協力してイベントを盛り上げています。社協は模擬店「やきそば」担当で参加してきました。

●公民館との協力

年末に実施する「日本の年越」行事の、餅つき・しめ縄づくりのお手伝いに、春の公民館まつりでは、福祉バザーの干物販売で協力参加しています。

●地域防犯活動参加

西浜安全安心まちづくりの地域防犯パトロールの参加と、児童の下校時安全見守り活動に地域ボランティアとして参加し、安全まちづくりに協力しています。



南湖ふれあいまつり



公民館まつり



防犯ボランティア

設立年月日：昭和59年2月14日 役員：6人 理事：14人 評議員：99人

●地区ボランティアセンター： ボランティアセンター海岸

開始年月日：平成23年10月31日

住所：中海岸2-2-42「茅ヶ崎市福祉会館」内 電話・FAX：0467-85-5540

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：26,640人 世帯数：11,352世帯 高齢化率：23.45%

自治会数：13自治会 民生委員・児童委員数：40人 サロン数：2箇所

●地勢等

茅ヶ崎市の南部で相模湾沿いの地区の真ん中にあり、茅ヶ崎駅南口から徒歩で最長30分圏内に位置し、福祉会館を始め市の文化施設も多くあり環境に恵まれた住宅地域です。

サーファー族など若い方が居住する一方、ご高齢者も大変多い地域です。

●26年度の主な事業

- ・定例総会を5月2日(金) 及び臨時総会を5月31日(土) 福祉会館で開催
- ・健康体操：気功やヨガを取り入れた幅広い年齢層を対象にした体操で年8回開催
- ・広報誌「海岸」49号を8月1日に発行。50号は平成27年元旦に発行予定
- ・研修会：「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」をテーマに、市社協の藤尾氏、地域包括センター「あい」福岡氏、福祉相談室「あい」土屋氏を講師に迎え、8月2日(土)福祉会館で開催
- ・施設研修会：認知症専門である御殿場市「富士山麓病院」の見学を10月17日(金)開催
- ・海岸地区社協の最大のイベント「ふれあいの集い」を11月16日(日)福祉会館で開催
- ・海岸地区合同新年会協賛：4団体が福祉会館で新年賀詞交歓会を開催

●これまでの歩みと取り組み

昭和59年2月に設立され、今年30周年を迎えました。

初代会長に佐々木周一氏が就任され2年間ご尽力いただき、その後平成8年までの10年間、二代目有坂孝一氏が基礎作りに貢献されました。以降大木健八郎氏、千葉俊夫氏、齋藤清氏、岡本一雄氏と引き継がれ、22年から4年間を島田俊夫氏が就任、会則の改定等組織の充実化を図られ、26年度より八代目の会長として鈴鹿隆司に引き継がれました。

◎過去の事業の思い出

☆老人ホームの訪問：平成5年から17年まで、茅ヶ崎・東海岸両小学校の皆さんに「ふれあいの手紙」を書いてもらい、「ふれあいの集い」の収益金の一部を添えて老人ホームの慰問を行いました。この事業は海岸地区にお住まいの80歳以上の独居老人への記念品贈呈という形で続いています。

☆給食宅配サービス：平成5年から13年まで市社協の依頼により、希望される高齢者のお宅にお弁当の配達を行いました。この事業は高齢者の安否確認をすることも含まれていましたが、13年10月より業者に移管され終了しました。

◎現在の主な事業

☆ボランティアセンター海岸：今年度から海岸地区社協の中の主要な事業と位置付けしてボランティアセンター部会を設けその部会において運営することとしました。部長には瀧且裕氏が就任しました。

現在コーディネーターは14名、サポーターは71名です。昨年度の活動実績は依頼件数255件、延べ実働時間は604時間でした。現在の悩みは実働サポーターが限られ20数名で対応しているため、依頼物件に対し1週間以上お待たせることもあります。もっとフリーな時間があるサポーター探しが課題となっています。



ボランティアセンター

☆ふれあいの集い：昭和62年より始まり今年で28回を迎えました。

この事業は海岸地区社協の最大のイベントで、福祉会館を全館借り切り、会館前庭では各種模擬店、売店、体験コーナーがあり、会館1階では毎回大好評のバザーと授産施設の皆さんの作品の展示即売・2階では体験及び遊びのコーナー、お茶席、似顔絵コーナー、血圧測定・3階のホールでは、地区の小中学校の生徒の皆さ及び市内の色々なサークルのみなさんにも出演してもらい、賑やかで楽しい演芸を行います。



ふれあいの集い

この催しを開催するに当たっては、地区社協を中心に海岸地区のすべての団体に協力を頂き、毎回盛大に行っています。

☆健康体操：地域の皆様が元気に過ごせる手助けにと、平成13年に太田先生を迎え10年間指導を頂きました。そして昨年度より気功やヨガを取り入れた体操の伊藤真琴先生をお迎えし、6月・7月・9月・10月・11月・12月・2月・3月の年8回、福祉会館で開催しています。



健康体操

☆子育てサロン「いちご」：毎月第3金曜日福祉会館1階で開催しています。

☆福祉サロン海岸：毎月第2・4金曜日福祉会館1階で開催しています。

気軽に遊びに来て下さい。

●海岸地区のおススメポイント

まずは海辺から眺める富士山と烏帽子岩・江ノ島・伊豆の山々、そして海水浴場・茅ヶ崎サザンC・ヘッドランドがお勧めです。高砂緑地一帯には図書館・美術館・松籟庵・川上音二郎、貞奴の記念碑といった文化施設があり、又、市営野球場と隣接した海岸青少年会館・福祉会館・開高健記念館・氷室椿園等々見どころ満載の茅ヶ崎を象徴する文化圏です。

設立年月日：平成8年6月1日 役員：8人 理事：25人 評議委員：70人

●地区ボランティアセンター：つるみね東ボランティアセンター

開始年月日：平成22年7月23日 住所：西久保785 電話・FAX：0467-86-7639

E-Mail：tsuruminehigashi724@dg7.so-net.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：32,979人 世帯数：12,758世帯 高齢化率：20.40%

自治会数：9自治会 民生委員・児童委員数：33人 サロン数：2箇所

●地勢等

凡そ東は相模線、西は小出川、南は千の川、北は新湘南バイパスに囲まれた地域で、鶴嶺小学校、浜之郷小学校、円蔵小学校、鶴嶺中学校、円蔵中学校、鶴嶺高校の6校があります。地域の北西部にあたる小出川周辺は、いまでものどかな田園風景が広がっています。

●主な事業

○サロン

鶴嶺東コミュニティセンターの施設を利用して2種類のサロンを開催しています。

その一つは「サロンつるみね」と称して、年齢を問わず区内の住民が、誰でも参加できるもので8月を除き毎月第2水曜日に開催し、ボランティアの強力な支援により毎回約120人分の昼食を調理し有料で提供しています。一方、年4回の企画で70歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした「デイサービス・いこいの場」を地区民生委員児童委員協議会の協力を得て実施しています。食事は弁当を調達するところが、「サロンつるみね」と異なる点以外は、内容的に殆ど同じです。



サロンの舞台上で踊りを披露



茅ヶ崎体操を楽しむサロン参加者の皆さん

○講座など

年1回の頻度で講師をお招きし医療講座を開催しています。また、同様に年1回福祉施設視察などの研修を実施しています。

○広報紙

年1回の頻度で域内各戸配布の「つるみね」を発行しています。



認知症の講座は関心が高かった

○会議など

地域福祉を考える関係4団体会議（地区自治会連合会、地区民児協、地区社協、ボランティアセンター）を必要に応じて適宜開催する一方で、当地区の福祉活動に携わるボランティアの方々との懇談会を開催しています。

○年末慰問金として、民生委員の協力のもと認知症・寝たきり高齢者の介護者への慰問金を配布しています。

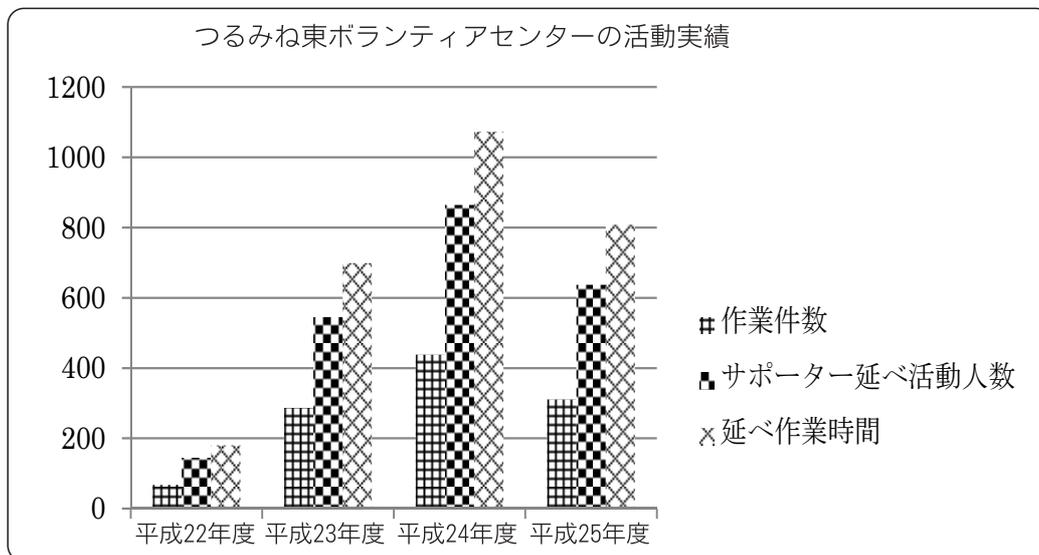
●これまでの取り組み

「地域づくり」の拠点として、昭和59年8月1日に市内7番目の「鶴嶺地区社協」が設立されました。そして12年後の平成8年度に小出川を挟んで西と東に分かれ、現在の鶴嶺東地区に至っています。

基幹事業の「サロンつるみね」は、平成26年6月に通算110回を迎えましたので10年の実績があります。又、平成13年度に始まった「デイサービス・いこいの場」は、平成26年7月で通算61回となりました。

一方、平成21年7月にはボランティアセンター設立準備委員会を設立し、翌年の平成22年7月には「つるみね東ボランティアセンター」として発足させました。

当ボランティアセンターが開設以来の実績は下表のとおりですが、高齢化が進む地区内では欠かせない大切な活動となっており、地域の方々に大きく期待されています。



●鶴嶺東地区のおススメ

鶴嶺東地区は、市内でも多くの名所・旧跡を擁する地域で、鶴嶺八幡宮と参道の松並木をはじめとして、懐島景能が建立したといわれる円蔵の神明大神宮、矢畑の本社宮、下町屋の旧相模川橋脚などがあります。又、千の川に架かる富士見橋から眺める富士山は素晴らしく、ダイヤモンド富士の撮影ポイントとしても人気があります。西側に流れる小出川沿いは田園風景がひろがり、春には小出川河畔で河津桜まつりなどが開催され人気のスポットです。

設立年月日：平成8年6月1日 役員：15人 理事：20人 評議員：69人

●地区ボランティアセンター：つるみね西ボランティアセンター

開始年月日：平成21年1月18日 住所：萩園2360-1 電話・FAX：0467-73-8280

E-mail：turuminenisi-vc@tempo.ocn.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：16,570人 世帯数：6,463世帯 高齢化率：21.91%

自治会数：10自治会 民生委員・児童委員数：24人 サロン数：9箇所

●地勢等

鶴嶺西地区の地域は、東西は小出川の西から相模川の東岸まで、南北は国道一号線の北（今宿の一部は国道南側含む）から寒川町との境の圏央道までに位置し、標高は海拔3m～6mと低く平地であり、北部には田畑が残り田園風景が広がっています。

●主な事業

主な事業としては「つるみね西ボランティアセンター」の運営があり、毎週開催している「金曜サロン」、年2回の「日中一人暮らし昼食会」、年1回の「福祉まつり」等があります。広報「つるみね西」の発行や、地域サロンの支援も大切な事業と考えています。

●これまでの取り組みより

1) 児童養護施設「箱根 恵明学園」見学

鶴嶺西地区社会福祉協議会では、スタッフの資質向上を目的とした学習会・施設見学会等を行っております。その中から今回は「箱根 恵明学園」の見学会をお伝えします。

平成19年11月9日「箱根 恵明学園」を施設見学させて頂きました。入所定員70名、当時の入所者は61名であり、その70%あまりが色々な親の虐待を受けた辛く悲しい経験を持つという有様でした。施設の子供たちは、育児放棄や虐待を受けたもの、極度の貧困家庭で勉学困難なもの亦、色々な障害を持つ児童等であります。生育過程に受けた家庭生活の混乱から、突然喚き出すもの、所選ばず頭を打ち続けるもの、三度の食事にも不足し盗みに走ったもの等々です。日常活動では見えにくい家庭環境を覗き見したようで背筋が寒くなる思いでした。このような福祉の現場を目の当たりにした私たちは、今更ながら大きなカルチャー・ショックを受けました。生活支援・指導に当たる保母さんの中には、常態的ストレスの重圧からノイローゼになり、「離職を余儀なくされる者が後を絶ちません。これは施設運営の大きな課題となっています」とは、園長先生の苦悩に満ちたお話でした。



恵明学園 見学

わが国の子供の相対的貧困率は約16%であり先進国の中では悪いほうです。子供は親を選ぶことができない現実を直視して、社会福祉の充実拡大に微力を尽くすことをお互い心に誓い合いました。

## 2) ボランティアセンターの立ち上げ

つるみね西ボランティアセンターは平成21年1月18日に開所しました。事前に実施した地域の皆さんに対するアンケート調査では、ボランティアセンターの設置を強く望む結果が出ました。それは、庭木の剪定、草むしり、ゴミ出し等のちょっとした手助けが欲しいというものです。市当局、市社会福祉協議会等のご尽力により12地区の中5番目の設置となりました。6年目を迎



つるみね西ボランティアセンター開所式

えた現在、ご利用者は右肩上がりに増加し嬉しい悲鳴を上げています。痒いところに手が届くきめ細かな活動をしていきたいと考えております。スタッフ一同ご利用をお待ちしております。

## ●鶴嶺西地区のおススメ

地区の東端を流れる小出川の堤防は、NPO法人などによって良く管理されており、四季折々の花を、自然を満喫させてくれる絶好の散歩道になっています。また、河津桜まつり、桜まつり、萩まつり等のイベントも楽しみであり、紫陽花、コスモス、彼岸花、ぎる菊等も目を楽しませてくれます。

西端の相模川の堤防も雄大な富士山と悠々と流れる川の流れを眺めながらの散歩道となっています。この堤防沿いには焼却場の熱を利用した温水プールがあり地域の人だけでなく市内全域から利用者が来ています。



設立年月日：昭和59年3月24日 役員：7人 理事：21人 評議員：27人

●地区ボランティアセンター：ボランティアセンター湘南ハート&ハート

開始年月日：平成24年4月2日 住所：柳島1-8-44 電話・FAX：0467-85-3000

E-mail：borasen-syounan@dg7.so-net.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：14,962人 世帯数：6,211世帯 高齢化率：27.12%

自治会数：9自治会 民生委員・児童委員数：25人 サロン数：13箇所

●地勢等

「湘南地区社会福祉協議会」は、湘南海岸と馬入川に接する茅ヶ崎市の南西に位置し、9つの自治会と各種関連団体で構成されています。

中島・柳島・浜見平・松尾・松風・ベルパーク・ガーデンハウス・グランヴァーク・エクシードと、歴史のある自治会から新しいマンションの自治会までと、広範囲に亘っています。各自治会がそれぞれの特色を持っている地域です。

●平成26年度の主な事業

「ひろげよう ふれあいの輪 たすけあいの輪」をスローガンにして、より多くの人たちの交流の場を通して、いきいきとした地域づくりの活動を進めています。

- ・第30回「福祉まつり」の開催。昨年度は台風接近による悪天候により中止。伝統を継承しつつ、さらなる「湘南らしさ」を求めて。
- ・会報「しょうなん」の発行。(年2回)
- ・「ふれあい映画会」の開催。(年6回、平成26年8月の開催で46回目)  
ちなみに、第1回は平成18年12月で「晩秋」。第46回は「お嫁においで」。
- ・ボランティアセンターの支援。  
茅ヶ崎市南西部複合施設「ハマミーナ」への移転(平成27年4月)に合わせ、地域住民一体となって、より「湘南らしい」ボランティアセンターに発展させていく。
- ・ミニデイサロンの運営を支援。(サロンの数は13)  
各サロンの世話役の方々と懇親会や、湘南地区社協の理事によるサロン訪問を通し、より魅力あるコミュニティーを創造していく。
- ・各地域の防災活動、学校行事や「さくら祭り」など、地域の各種イベントに参加。

●「湘南地区社会福祉協議会」30年のあゆみ

過去の事業を継承しつつ、年度ごとにテーマを決め、そのテーマに沿って事業展開をしています。

また、イベントがある度に積極的に応援してくれる多くの役員OBの存在は、まさしく地域の力であり、湘南地区社協の誇りです。

- ・ 「福祉まつり」の開催。(昭和59年湘南地区社協発足時より継続)
- ・ 一人暮らしの「老人の集い」は平成元年から9年間継続。
- ・ 高齢者宅の見守りを兼ねた、「食事の宅配サービス事業」を平成3年から10年間継続。
- ・ 「ふれあい映画会」の開催。(平成18年12月より隔月)
- ・ 湘南地区ボランティアセンターの立ち上げ。
- ・ 東日本大震災の復興支援のため、南三陸町の海産物の販売と募金活動を実施。
- ・ 25年度は、資金集めの方策として、地域のイベントに食品販売の屋台を出店。

☆「福祉まつり」

地域の老人会、及び高齢者の皆さんをお招きし、一日演芸を楽しんでいただく行事です。幼稚園児の合唱、小学生のダンス、中学生の吹奏楽、郷土芸能、各自治会からの踊りや歌……等々。プログラムは30近くになります。

祭り囃子、模擬店や野菜の即売など、会場周辺も賑やかです。

過去には、地域の協力者の力を結集して、自前で500食ものお弁当を作った年度もあります。



郷土芸能「エンコロ節保存会」

幼稚園児合唱

☆「ふれあい映画会」



映画会のひとコマ

隔月で開催しています。平成18年12月が第一回目でした。昔なつかしい映画から、最近の話題作まで、映画を楽しんでいます。

地域の福祉施設から車椅子で参加する方もいます。

●湘南地区おススメのスポット

- ・ 柳島海岸
- ・ 柳島キャンプ場
- ・ しおさい広場
- ・ 藤間柳庵資料館
- ・ 柳島下水処理施設
- ・ 湘南夢わくわく公園

設立年月日：昭和59年1月30日 役員：13人 理事：76人

●地区ボランティアセンター：ふれあい支えあい松林地区サポートセンター

開始年月日：平成21年3月19日 住所：赤羽根1332パストラル式番館101

電話・FAX：0467-52-1349

E-mail：syorinsyakyo@yahoo.co.jp

●地区概況(平成26年10月1日現在)

人口：22,936人 世帯数：9,215人世帯 高齢化率：23.75%

自治会数：9自治会 民生委員・児童委員数：32人 サロン数：4箇所

●地勢等

松林地区は、茅ヶ崎の北東部赤羽根山の麓に広がる、緑濃く自然豊かな土地です。近年は、アパートマンション等増え、住宅密集地へと変わりつつあります。地域住民は、昔からの風習を守りながらも、新しい風を取り入れ活動しています。

●松林地区社協の歩み

地域9自治会の民生・児童委員、青少年関係、子ども会、学校関係、ボランティア団体等の住民により構成されている任意の地域組織です。

昭和59年 上赤羽根、中赤羽根、下赤羽根、高田、室田、菱沼、ニュータウン茅ヶ崎、ショ(設立)クサンビラの8自治会で設立。

事業は、お花見、独居老人給食、福祉バザー、敬老大会、その他

昭和62年 一人暮らしの老人を対象に月に1回民生委員・児童委員が給食を開始。平成5年、市で宅配給食を開始したため、松林社協は中止。但し宅配は民生委員とボランティアが引継ぐ。平成8年、お楽しみ給食を松林社協が引継ぎ長寿会として発足。

昭和63年 第1回ふれあい運動会を実施。老人、子ども達、身障者が一緒になり競技をし最後に全員で手をつないでフォークダンス、すばらしいふれあいの日でした。

平成14年 オクトス湘南茅ヶ崎自治会が加入。松林地区社協9自治会に。

平成21年 松林サポートセンター設立。

●主な事業

#### 1. 春のお花見

平成26年の花見は4月5日(土) 赤羽根神明大神の境内で開催されました。浅岡会長の挨拶に始まり、可愛い子ども達の祭つりばやし、華やか衣装姿での踊り・歌、さて、さて、さても南京玉すだれで始まる南京玉すだれ等、皆さん甘酒を飲みながら楽しそうに鑑賞していました。昼食は、濱田屋のお弁当、おいしかった・・・。



午後は、インストラクターの指導で茅ヶ崎体操、歌に合わせてイチ、ニ、サン……元気に柔軟体操実施。小澤副会長の閉会の言葉で終了です。皆さんお疲れさまでした。

## 2. 松林長寿会



松林長寿会は、独居老人の給食会を引継ぎ、平成7年に発足しました。松林地区お住いの70歳以上の一人暮らしの方、どちらかが75歳以上のご夫婦、公民館まで来られる方を対象にしています。又、地区を4ブロックに分け各地区の皆さんを対象に、親睦を兼ねた食事会を実施しています。写真は、室田保育園の子ども達が、お年寄りにプレゼントを渡し、お年寄りとおふれ合いをしているところ。ボランティアさん手作りの味噌汁とお弁当。アカペラで、青い山脈、茶つき、故郷を皆で合唱し楽しみました。

## 3. 敬老大会



平成13年の敬老大会のひとこま毎年恒例になっている自称ワンさん、タンさんのバナナのたたき売り。自治会有志による、バカ面踊り、湘南茅ヶ崎よさこい踊り、いずれも芸達者達です。

### ●ふれあい支えあい松林サポートセンター

サポートセンターは開設後5年になります。草取り、掃除、買い物の依頼がほとんどで、その内の50%以上は草取りと低木の剪定です。サポーターさんも高齢化し大変苦慮しています。

高齢者、病気の方、障害のある方、出産、育児で困ったこと、誰かに頼みたいという皆様のために、サポートセンターがあります。気軽に電話して下さい。スタッフ、コーディネーターが相談に対応致します。

《助けられる人》から

《助ける》人へ

ボランティアを募集しています。



設立年月日：昭和61年7月13日 役員：12人 理事：40人 評議員：65人

●地区ボランティアセンター：湘北地区ボランティアセンター

開始年月日：平成15年9月21日 住所：香川2-18-17 電話・FAX：0467-27-2030

ホームページ：members2.jcom.home.ne.jp/syakyo-shouhoku/

E-mail：syakyo-shouhoku@jcom.home.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：26,528人 世帯数：10,826世帯 高齢化率：28.29%

自治会数：7自治会 民生委員・児童委員数：36人 サロン数：21箇所

●地勢等

本地区は北に甘沼丘陵を控え、南に茅ヶ崎中心平原を望んで相模川用水や駒寄川に潤された純農村地帯でしたが、近年、相模線の発展と宅地造成が進み、田園都市化している地帯です。豊かな自然も多く、それとの調和のとれた街づくりが期待されています。協議会は地域社協や民生委員との人的交流が密接で、連携した活動が進められています。

●主な事業（26年度）

1. 部会事業： 公民館まつり参加、健康福祉講座開催、広報紙（湘北）発行、ボランティア入門講座開催、地域福祉を考える懇談会開催、ホームページ運営と管理
2. ボランティアセンター事業： 生活支援、敬愛訪問、ほっとライン活動、コーディネータ配置事業、ボランティアの育成と活動の周知、コミュニティサロン開催
3. 先進地域や福祉関連施設の視察研修、鶴が台小多目的室の運営参加
4. 地域活動の支援

●これまでの取り組み

社協活動の移り変わり

宅配給食 平成3年7月より平成13年10月まで。以後、業者に移行。

地区ボランティアセンター開所 平成15年9月。平成21年現在地移転。

広報誌「湘北」創刊 昭和61年10月。平成25年度に42号発行。

視察研修開始（初回 谷戸地区）昭和62年度 第1回健康講座（マッサージ、指圧）昭和63年度。平成24年健康福祉講座。

一人暮らし老人の「料理教室」平成元年より平成3年まで

公民館まつり協賛 平成2年よりバザー一部参加

托老の集い「ほのぼのクラブ」平成3年より平成7年まで（以降、地域の団体に受け継がれる）

福祉シンポジウム 平成11年より12年まで

地域福祉を考える懇談会開始 平成18年。現在パート9を実施中。

ホームページ立上げ 平成19年

ボランティアセンター「コミュニティサロン」開始 平成22年

コーディネーター配置事業にモデル地区として参画 平成23年より25年まで。現在、センター事業として継続中。

平成23年に創立25周年を迎え、地域福祉活動を紹介する小冊子を記念刊行



まちたんけん



コミュニティサロン



地区V C活動

### 地域サロン活動の開始

- 昭和61年 鶴が台「お年寄りの集い」(現在、「すこやかサロン」)
- 平成5年 松風台「松の実会」(お年寄りの会)
- 香川「おたのしみ会」(托老の集い)
- 平成6年 甘沼「ふれあいの会」
- 平成7年 鶴が台「たんぽぽの会」(中途障害者の集い)
- 平成17年 松風台「ほっとサロン」
- 平成19年 鶴が台一「ほほえみサロン」
- 松風台「歌の街」
- 平成20年 甘沼「甘沼サロン」
- 平成21年 甘沼「スウィートポテト」(子育てサロン)
- みずき「みずキッズ」(子育てサロン)
- みずき「カフェみずき」
- 平成22年 香川「にこにこサークル」(子育てサロン)
- 平成23年 松風台「まつぼっくり」(子育てサロン)
- 平成24年 香川「香川サロン」

### 地区のその他のサロン活動

湘北とものわ(ミニデイ)、ボランティア香川(サロン、ミニデイ)、きらきらぼし(子育て支援)、水曜サロン(サロン)、Eラウンジ(シニアサロン)

### ●湘北地区のおススメ

ボランティアセンター「コミュニティサロン」  
 地域福祉を考える懇談会主催「まちたんけん」  
 ホームページ

設立年月日：昭和59年2月12日 役員：7人 理事：42人

●地区ボランティアセンター：みんなのこわだボランティアセンター

開始年月日：平成20年7月1日 住所：代官町7-7 電話・FAX：0467-55-1341

E-mail kowada@dg7.so-net.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：15,885人 世帯数：6,465世帯 高齢化率：20.16%

自治会数：6自治会 民生委員・児童委員数：21人 サロン数：4箇所

●地勢等

茅ヶ崎市の東部に位置し、藤沢市の境と接しています。国道一号線を挟んで南側と北側に分かれており公共的施設も少なく地区の核となる施設もありません。当地区社協は自治会はじめ地域の福祉関係者の協力を得て小和田コミセンやみんなのこわだボラセンを活動拠点に地域の福祉活動を展開しています。

辻堂駅北側に23年11月にオープンした湘南テラスモールの影響で地区内の宅地開発に伴う人口増や交通事情の悪化など地域環境が大きく変化しており、当会の活動にもさまざまな影響が予測されます。

●これまでの取り組みと主な事業

小和田地区社会福祉協議会は昭和59年2月12日に誕生して今年で31年目を迎えました。初代会長は日比正雄氏が就任して昭和62年度まで4年間にわたり会の発展に尽力されました。昭和63年度は窪達也会長が就任し、その後平成元年度より23年間にわたり柳平吉会長が会の充実に取り組まれました。平成24年度より八幡弘徳会長に引き継がれ、平成25年度は当地区社協設立30周年を迎え、特別記念事業として「小和田地区福祉マップ」を作成し各自治会より全戸配布を致しました。26年度より新会長小川英男のもとでより充実した活動の推進を行っています。

○小和田地区敬老大会

小和田地区敬老大会は75歳以上の方を対象に小和田地区コミュニティセンターで毎年開催していますが、第1回敬老大会は赤松公園にテントを張り当日の天気を気にしながらの開催でした。柳島記念館、浜須賀会館など毎年会場探しに苦労していましたが昭和62年度に小和田地区コミュニティセンターが完成し現在に至りました。平成25年度は当協議会が設立30周年を迎え9月の敬老大会は「30周年記念小和田地区敬老大会」として盛大に行い、午後のアトラクションでは津軽三味線の迫力とあでやかな着物姿で踊る新星劇団のショーに招待者の気持ちは魅了されました。



30周年記念敬老大会で挨拶する八幡弘徳会長横に長年貢献された前会長柳平吉氏が着席されています  
平成25年9月13日(金)

○福祉のつどい

平成10年度から新しい企画として65歳以上の独り暮らし、身体障がい者の方を対象として年4回開催しています。そのうちの4回は小和田地区民生委員・児童委員協議会と共催で大型バスを借り上げて海岸線の美しい景色や地元料理のお食事でバスの旅を楽しんで頂いています。他の3回は、小和田地区コミュニティセンターにご招待して、市の保健師による血圧測定と健康相談、健康に関するお話、お楽しみ昼食を召し上がっていただき、午後のイベントは唄・おどり・ビデオのお笑いライブショー等を楽しんで頂いています。

○ふれあいサロン

毎月第1木曜日小和田地区コミュニティセンターで、地域在住65歳以上の方を対象に開催しています。ボランティアがお茶とお菓子を用意してハーモニカ・大正琴・手品・歌・折り紙・頭の体操・小物作り等その時々の参加者の希望も聞きながら10時から12時までの2時間を交流の場所として楽しんで頂いています。

○子育てサロン

毎月第2木曜日・最終金曜日小和田地区コミュニティセンターで未就学園児と保護者を対象に9時30分から12時まで1階和室で開催しています。沢山のおもちゃ・絵本などを用意してボランティアと地区の民生委員・児童委員が見守りをしながら遊んだり、お話をしたり、ゆっくりした時間を過ごして頂いています。お母さん達の友達の広がり場所にもなっています。



「子育てサロン」おもちゃいっぱい！  
子どももお母さんもお友達に

○みんなのこわだボランティアセンターの紹介

平成20年7月茅ヶ崎市本宿町に開設、平成26年3月茅ヶ崎市代官町7-7に移転しました。地域の方々が住み慣れた場所で安心して暮らしていけるように協力・支えあっていくボランティア活動を行っています。

センターは2階建でスペースもありますのでボランティアグループの活動にも利用して頂いています。定期的に使用して頂いているグループもあり施設利用は順調に伸びています。

受付 電話・FAX 0467-55-1341

受付 時間 毎週月・金曜日 10:00 ~ 12:00

施設利用申込 毎週月・金曜日 10:00 ~ 12:00

やさしいこわだ  
あかるいこわだ  
みんなのこわだ



設立年月日：昭和56年10月14日 役員：9人 理事：22人 評議員：47人

●地区ボランティアセンター：まつなみボランティアセンター

開始年月日：平成16年6月1日 住所：富士見町2-12 電話・FAX：0467-84-0301

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：24,059人 世帯数：9,666世帯 高齢化率：22.67%

自治会数：14自治会 民生委員・児童委員数：31人 サロン数：7箇所

●地勢等

松浪地区は、東海道線の海側東端にあつて藤沢市に接しています。幹線道路を除くと、地域内の道路はいずれも狭小で迷路に近いです。辻堂駅西口周辺の商店街の他は概ね低層住宅地域で、他所より移り住んだ世帯が多くなっています。

●主な事業（26年度）

ふれあいまつり

ブロック別交流会

うつ病講座、認知症講座（小和田公民館と共催）

ボランティアセンター（生活支援及び福祉なんでも相談）

●これまでの取り組み

松浪地区は、伝統的に自治会を始めとして各団体間の交流が円滑で、地区社協もその輪の中にしっかりと組み込まれています。これが社協の日常活動にも、イベント開催においても不可欠な力となっているのです。

松浪地区社協の年間最大の行事は、「わが街の福祉はふれあい支えあい」をテーマに掲げる「福祉ふれあいまつり」です。10月の日曜日、松浪小学校の体育館、校庭、一部教室を使って盛大に繰り広げられます。体育館では、高齢者、障害者、子どもたちの作品の展示、ステージで浜須賀中の管弦楽、松浪中の吹奏楽の演奏を挟んで、地区内団体、小学生生徒たちの合唱やダンスあるいは障害者たちの合奏など様々な演技が披露されます。フロアでは地域包括支援センター「さぎなみ」による介護相談、血圧測定。業者の介護用品の紹介など。校庭は毎年40前後のフリーマーケットと、子ども向け遊びコーナー、模擬店などで賑わいます。教室では点字の名刺づくり、アイマスク誘導など福祉体験、折り紙、手作りおもちゃなどのお楽しみ体験。

このイベントは、新しく発足した「まちぢから協議会」が協賛し、自治会、民生児童委員、各校PTA など諸団体、及び地区内障害者支援施設が全面的に参加します。また特に浜須賀、松浪両中学校の生徒たちが、多数ボランティアとして活躍するのが特徴です。

地区を4ブロックに分けた高齢者の交流会も長い間継続して開催されてきました。それぞれの地域に所属する民生委員が中心となり、独自の企画を立て、昼食を共にして楽しいひと時を過ごします。

松浪地区社協は、高齢福祉部、障害福祉部、児童福祉部、ボランティア事業部（ボランティアセンター）が組織され、通年事業を展開していますが、理事、評議員は全員どれかに所属しています。主な活動は、この指とまれ（高齢者向けサロン）、道路のバリアフリー点検、子育て広場、子ども映画会など。他に松浪自治会館で定期的に囲碁などの5種類のサロンが開かれています。

ボランティア事業部は、平成26年度前半のデータによると、依頼会員（利用者）230名、



サポーター35名、コーディネーター3名、スタッフ（受付など）8名。庭の手入れ、屋内掃除、ゴミ出しなど、年間500～600件。市民の高齢化が進む中で、依頼の増加が見込まれ、サポーターの増員が目下の課題です。

### ●当地区の景勝ポイント

浜須賀陸橋上のパノラマ。



設立年月日：昭和60年7月23日 役員：8人 理事：22人 評議員：29人

●地区ボランティアセンター：サポートはますか

開始年月日：平成15年6月3日 住所：旭が丘8-5 電話・FAX：0467-88-5116

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：15,387人 世帯数：5,923世帯 高齢化率：23.51%

自治会数：12自治会 民生委員・児童委員数：22人 サロン数：1箇所

●地勢等

浜須賀地区は茅ヶ崎市の東南に位置し、南は湘南海岸と国道134号線、北はJR東海道線までと、東は学園通り、西はラチエン通りの間にあり、面積1.5kmの小さく平坦な地形で、この地区には神社仏閣がなく、緑豊かな古くて新しいまちです。また中央に鉄砲通りが東西を貫き比較的の交通量の多いところです。

●主な事業

1) サポートはますか

“サポートはますか”は浜須賀地区の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように住民同士が支え合っていくことを目的として活動するボランティアグループです。

例えば、介護保険は使えないが日常生活の中でちょっとしたお手伝いをお願いできるとあり

がたい。家の周りの雑草がぼうぼうに伸びているが自分では刈り取りができない。電球が切れて交換したい。毎日一人で生活しているとたまに誰かと話したい。最近では体調が悪く買い物に行けない等々様々なサポート（支援）の要望があります。



2) コーディネーター配置事業

核家族化が進み、介護疲れ、育児ストレス、引きこもり、地域の中で孤立しやすい状況にある課題や制度のはざ間にある課題に対する仕組みづくりが今求められています。

また、分野別の相談窓口だけでは対応が困難な複合的な問題が表面化している状況で住民が身近で相談できる窓口の重要性がますます高まってきています。こうした状況を踏まえて、地域全体で支える地域づくりを目指し、公的サービス、制度にとらわれない活動を担って地域福祉団体と行政を含む専門の相談支援機関の間に入って両者をつなぐ活動をしています。

### 3) ふれあい昼食会

77歳以上の方々をお招きしての昼食会です。

浜須賀地区12自治会を4つのグループに分けて、各グループに対して年2回実施します。

対象になるの方々には自治会の回覧でお知らせします。同時に担当の民生委員が個別にお知らせを直接お渡ししながら参加の確認を取ります。

当日の昼食は地区社協のボランティアグループえにしだ会のメンバーが作ります。地域包括支援センターあさひにも血圧測定、健康相談などで協力をお願いしています。食後はアトラクションで楽しい演芸も取り入れ参加者から好評を頂いています。



## ●これまでの取り組み

### 1) 敬老のつどい

年1回（9月）に高齢者（77歳以上）の方々をお招きして昼食をともにしながら、ご長寿のお祝いを行っております。米寿（88歳）の方々には、特別に記念品をお渡ししています。保育園児とのふれあいや楽しい余興があります。



### 2) サロンはますか

毎月第2、第4金曜日に2回（年20回）

乳幼児からお年寄りの世代間交流をモットーに地域の「お茶の間」をめざしての場を提供しています。

季節の行事（お茶会、七夕、お盆、お月見など）親子の遊び場など楽しいふれあいの場です。

### 3) 福祉バザー

毎年10月に浜須賀会館祭りがあります。その折に各家庭で不要になったものを寄贈していただき、集まった品物やボランティアさんの手作り品、マドレーヌを作り福祉バザーを行って福祉活動に役立てています。

## ●浜須賀地区のおススメ

湘南海岸です。

天気の良い時には正面に大島が見渡せます。左手から緑豊かな江の島、茅ヶ崎の烏帽子岩、右手には伊豆の山々、何ととっても世界遺産日本一の富士山が眺められる絶景です。



設立年月日：昭和61年2月22日 役員：10人 理事：20人

理事兼評議員31人(役員との重複5人) 評議員：24人

●地区ボランティアセンター：小出地区ボランティアセンター

開始年月日：平成21年11月1日 住所：堤1928-1 電話・FAX：0467-98-0901

E-mail：koidevc21@jcom.home.ne.jp

●地区概況（平成26年10月1日現在）

人口：10,370人 世帯数：3,753世帯 高齢化率：33.98%

自治会数：17自治会 民生委員・児童委員数：20人 サロン数：4 箇所

●地勢等

茅ヶ崎北部丘陵地帯で、面積は茅ヶ崎のおよそ5分の1を有します。

古くからの（旧小出村）住民と、開発された大規模団地の（ライフタウン）住人とで構成されています。福祉施設も多く、また地域としての高齢化率は茅ヶ崎で一番です。

●主な事業

平成25年に「包括支援センター・福祉相談室」が開設され、いよいよ今年にはコーディネーター配置事業へ向けての準備が始まります。ボランティアセンターの活動も新たな展開が必要になってくると思われます。

●これまでの取り組み

発足当時はまだ「福祉」という言葉が一般住民に浸透しておらず、福祉は高齢者という観点での事業展開であったと思われます。宅配事業の展開と終了、そしてその後、介護保険制度が導入されるに伴い、制度のはざまの方々への支援の必要が話し合われ、ミニデイサービスの立ち上げにつながりました（平成13年「ほのぼの小出」）。また、身近なところからの活動をということで、各自治会から「福祉委員」を1名から3名選出してもらうこととなり、地区社協評議員という位置づけとしました。

○福祉講座

発足当初から福祉講座は年間事業として取り組まれていましたが、ひろく一般に周知されるまでには至りませんでした。地域にコミュニティセンターが開館したことにより大勢が集まれる場所が確保され、コミセンとの協賛事業として毎年必ず「福祉講座」が企画されるようになりました。

「子育てから寝たきりまで」「みんなの元気お口から」「健康体操」「住みよい地域は支えあいから」「補助犬がやってくる」「障害者って何？」「ありがとうの20年、笑って元気で」などの講演が行われました。



補助犬がやってくる（コンニチハ）

○敬老お食事会（映画とお食事会）

昭和63年から続いている恒例の行事です。3市1町で購入していた16ミリフィルムの内容が時代の流れでアニメ主流になってきたため、映画でなくその都度お年寄りに楽しんでいただける企画に頭をひねるようになりました。平成23～25年にはマジックショーを開催、おおいに好評を博しました。



マジックショー（鳩が出てきますよ。）

○視察研修会

その年度ごとに関心のあるテーマに添って、先進的活動をされている地域・団体を訪問、小出の活動の参考になることはないか？と目と耳と心を全開にして研修を重ねています。

また、往復の車中は、日頃忙しくしている仲間のみなさんと交流する楽しい時間でもあります。

○サロン活動（4箇所、それぞれの年代に合わせた活動を展開しています。）

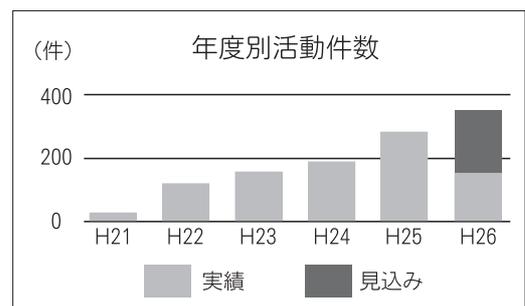
- ほのぼの小出（平成13年開始）：年4回、65歳以上の高齢者対象  
／各種催しと食事
- おしゃべりいろは（平成14年開始）：毎月1回、年齢制限なし、出入り自由／  
おしゃべりと遊びなど
- むくろじ（平成16年開始）：毎月2回、未就園児童と  
その保護者対象／母もゆっくりと
- マッサージと楽々ひろば：年7回、75才以上対象。／  
（平成17年開始） マッサージのあとはおしゃべりを



むくろじ（ハイみんなイイ顔！）

○ボランティアセンター

平成26年現在、登録サポーター74名（コーディネーター13名を含む）。地域住民の安定した生活の支えになることを願い、日常生活の支援、生活フォロー活動をモットーにがんばっています。年々仕事の依頼が増え、ボラセンの存在が地域に浸透してきているようでうれしい限りです。



●地区のおすすめ

「県立茅ヶ崎里山公園」は、地域住民のみならず市外からの来園者も多く、少なくなった里山の風景、季節を感じさせてくれる草花、木々のそよぎを愉しんでいます。秋に開催される「茅ヶ崎レインボーフェスティバル」には県内外からおおよそ4万人の来場者があり、今年で18回目を迎えます。

また、下寺尾地区で発掘された「下寺尾遺跡群 一郡衙・寺院」は、日本でも五本の指に数えられるほどの重要な遺跡であることが判明し、この秋にも国指定される予定です。

全事業  
スタッフ募集!!

入所待機期間“驚”短縮お困りの方お気軽にご相談を!!



特別養護老人ホーム アザリアホーム  
●介護老人福祉施設サービス(長期入所)  
●短期入所生活介護サービス(ショートステイ)

ケアセンター アザリアホーム  
●通所介護サービス(デイサービス)  
●訪問介護サービス(ホームヘルパー)  
●給食サービス(食事宅配)

居宅介護支援センター アザリアホーム  
●居宅介護支援サービス(ケアプラン作成)

社会福祉法人 湘南福寿会 TEL.54-5811(代)

湘南茅ヶ崎の“豊かな明日”を演出する  
～カギサングループ～



〒253-0044 茅ヶ崎市新栄町11-8  
TEL 0467-87-1911(代)

- \*ロッテリア湘南茅ヶ崎店
- \*焼きたてパン フォルサム
- \*からあげ とり多津茅ヶ崎店
- \*シェーキーズ茅ヶ崎店
- \*自遊空間茅ヶ崎エムロード店
- \*かぎさんえぼし焼
- \*ファンシー雑貨 palette
- \*カギサン酒店
- \*百圓領事館 茅ヶ崎店
- \*Golf do 湘南茅ヶ崎R1号店
- \*ちがさきパークング

<http://www.kagisan.com/>

不動産◆賃貸 建築◆リフォーム



LIXILグループ不動産チェーン

LIXIL

稲岡ハウジング株式会社

- 本社：茅ヶ崎市高田 4-4-5 0467-52-2222
  - 北口支店：茅ヶ崎市新栄町 7-1 0467-88-2222
  - 南口支店：茅ヶ崎市幸町 23-3 0467-88-2424
- <http://www.inaoka-h.com>

## 社会福祉法人慶寿会

～設立 35 周年～

健やかに生きることを目的に、利用者の方とご家族、地域の方、私たち職員が助け合い、睦み合い、楽しみ合って行くように福祉サービスを提供しております



介護老人福祉施設・短期入所

- 特別養護老人ホーム カトリアホーム

在宅介護 (居宅介護支援・通所介護・訪問介護 茅ヶ崎市委託事業 地域支援事業等)

- 居宅介護支援センター松林
- 平和町介護サービスセンター
- デイサービスふる里

総合口座・貯蓄貯金・定期貯金・定期積金 など

JA貯金で貯める

JAカードでお買物

ポイントなど多彩なサービスをご利用ください

JAローンで借りる

住宅ローン・マイカーローン・教育ローン など

JA共済で安心保障

ひと(生命・医療・介護) いえ(建物・家財) くるま(任意・自賠責)

<http://www.jakanagawa.gr.jp/sagami/>

さがみ農業協同組合

下記の店舗で  
JAバンク・JA共済のお問い合わせ  
をご相談をお待ちしています。

JAさがみ 検索

- 茅ヶ崎支店 ☎87-0030
- 西久保支店 ☎57-6111
- つるみね支店 ☎87-1744
- 小出支店 ☎51-0531
- 小和田支店 ☎51-4556
- 鶴ヶ台支店 ☎51-1001
- 南湖支店 ☎87-1210

明日への安心と快適ライフを提案いたします。

不動産の  
総合プランナー

JAホーム

マイホーム・アパートの建築、リフォーム・不動産に関することならお気軽にご相談ください。

さがみ協同開発株式会社

住まい探しは <http://www.ja-home.net>

茅ヶ崎営業所 茅ヶ崎市新栄町13-44  
☎0467-86-8870

本社 藤沢市湘南台 5-4-17

イオンは「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」という不変の理念を堅持し、その具現化のための行動指針である「イオン宣言」を胸に、「お客さま第一」を実践してまいります。

イオン宣言  
イオンは、日々のいのちとくらしを、開かれたところと活力ある行動で「夢のある未来」(AEON)に変えていきます。

営業時間

イオン直営食品売場 7時 ▶ 24時

イオン食品売場以外 9時 ▶ 22時

専門店は、あさ10時～21時まで

イオン茅ヶ崎中央店  
茅ヶ崎市茅ヶ崎3-5-16  
0467-82-6111



街にいい風 あなたにいい風

# SHONAN

湘南しんきん

茅ヶ崎営業部 Tel. 0467-82-4121 若松町支店 Tel. 0467-87-0977  
 茅ヶ崎南口支店 Tel. 0467-84-1551 高田支店 Tel. 0467-53-3211  
 小和田支店 Tel. 0467-82-4187 寒川支店 Tel. 0467-75-3311

ご高齢者向け配食サービス

## すこやかキッチン

1食からでも注文OKです  
 ご注文は前日の夕方6時まで

栄養満点でおいしい日替わりのメニューをお届けします。

初回無料試食キャンペーン実施中

ご注文はお電話で

0467-87-1158



ごはんは+50円

ご注文受付時間/午前9時～午後6時

540円

現在の配達エリアは、芹沢・行谷・下寺尾を除く茅ヶ崎市全域です。

すこやかキッチン 検索

### 誰もが地域で暮らせるために

茅ヶ崎・寒川

茅ヶ崎市・寒川町を基本的な地域エリアとして、障害者、高齢者、児童を対象に、利用者の皆さんの「地域の中で暮らしたい!」という願いを大切に受け止め、総合的なサービスを提供しています。

社会福祉法人  
**翔の会**



お気軽にご相談ください

〒253-0008 神奈川県茅ヶ崎市芹沢786  
☎0467-54-5424 <http://www.syonokai.jp/>

### 人と人との交流、介護・支援を

いたします。

目指すのは、ユニットケアと地域交流。施設の中で完結するのではなく、ユニットと地域の間を様々な人が自由に出入りする昔の長屋のような関係性を目指しています。

社会福祉法人  
**翔の会**  
特別養護老人ホーム  
**ゆりり**



お気軽にご相談ください

〒253-0072 神奈川県茅ヶ崎市今宿473-1  
☎0467-84-6211 <http://www.syonokai.jp/>

### 高齢期を自分らしく過ごす

支援をいたします。

対象地域は茅ヶ崎市「みずき、香川、鶴が台、松風台、甘沼」です。地域に暮らす高齢者のより良い生活にお応えしていきます。

社会福祉法人  
**翔の会**  
茅ヶ崎市  
地域包括支援センター  
**あかね**



お気軽にご相談ください

〒253-0082 神奈川県茅ヶ崎市香川3-21-26  
☎0467-55-1535 <http://www.syonokai.jp/>

### 高齢期を自分らしく過ごす

支援をいたします。

対象地域は茅ヶ崎市「小桜町、小和田、代官町、本宿町、赤松町」です。地域に暮らす高齢者のより良い生活にお応えしていきます。

社会福祉法人  
**翔の会**  
茅ヶ崎市  
地域包括支援センター  
**青空**



お気軽にご相談ください

〒253-0012 神奈川県茅ヶ崎市小和田3-3-5  
☎0467-55-2360 <http://www.syonokai.jp/>

## 都市環境にトータルシステムでチャレンジする企業

@ 建物総合管理業

日常清掃・定期清掃・貯水槽清掃

総合設備管理事業

保安警備事業

集合店舗委託管理事業

損害保険代理業務

@ 総合建設業

各種営繕工事

給排水衛生工事

空調設備設計施工

造園土木工事

不動産業

〒253-0101 神奈川県高座郡寒川町倉見968番地1

# 株式会社 サンエー サックス

電話 0467-75-2111 F A X 0467-75-6789

貸付管理の  
専門店

いい部屋さがしのおてつだい  
神奈川県知事免許(12)第6566号

# (有)太平商事



本店 253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町12-12  
TEL0467-82-2063  
元町 253-0043 神奈川県茅ヶ崎市元町 4-39  
TEL0467-88-1123  
南口 253-0044 神奈川県茅ヶ崎市幸町 2-10  
TEL0467-84-6655

<http://taiheisyoji.jp>

法律に基づく市内唯一の総合経済団体  
「茅ヶ崎商工会議所」に是非ご入会を!

商工会議所の組織は、業種も規模も様々な地域の商工業者で構成され、幅広い人的ネットワークによって経済界の「意志」を集約している団体です。様々な活動を通じて地域産業の「縁の下」を支えるとともに各々の事業の発展を図り、地域全体の活性化に取り組んでいます。茅ヶ崎市内で事業を営まれている方はどなたでもご入会いただけます。あなたの参加が地域活性化への力につながる。是非、「茅ヶ崎商工会議所」にご入会を!



茅ヶ崎市新栄町13-29 ☎58-1111

皆様のご家庭にいる時と同じ気持ちで  
そしていつも笑顔でいられるように

特別養護老人ホーム つるみね

茅ヶ崎市西久保 596 番

Tel 0467-82-9911

Fax 0467-82-9918

Mail [chitokukai@bz01.plala.or.jp](mailto:chitokukai@bz01.plala.or.jp)

URL <http://www.turumine.or.jp>



## 介護用品 販売・レンタル ニッショウ

本店営業所 茅ヶ崎市高田4-24-30  
(カメラのキタムラ様となり)  
電話 0120-83-2440

福祉関連・・・各種資格試験問題集  
取り揃えております  
自宅介護・・・老人食の参考書もございます



HASEGAWA BOOKS & STATIONERY

### 長谷川書店



ネスパ茅ヶ崎北口交番通り (88) 0008  
南口駅前店 (82) 4728  
本店サザン通り (82) 2883



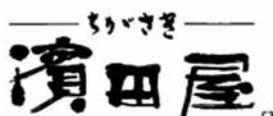
### 子ども遊と触れ合える 楽しいイベント沢山 介護老人福祉施設ハピネス茅ヶ崎

#### 介護老人福祉施設ハピネス茅ヶ崎

TEL:0467-38-4165  
FAX:0467-55-1465

<http://happinechigasaki.iinaa.net/>

## 祝 30 周年 おめでとうございます



ちがさき

湘南・茅ヶ崎の  
お届け料理専門店

茅ヶ崎市萩園1182-1  
[www.hamadaya.net](http://www.hamadaya.net)

0467-82-2022



## 高齢者住宅 ウェルライフシリーズ ウェルライフヴィラ湘南ちがさき

入居時費用:182,230円  
月額費用:174,340円~  
(食費込み)

全個室・トイレ洗面付

★24時間介護スタッフが常駐しております★

管理・運営:株式会社 富士建設 (株) 福祉事業部  
入居相談窓口・お問い合わせ ☎0120-88-7213 担当:片岡

Reijukai 社会福祉法人麗寿会

人を尊び 命を尊び 個を敬愛す

この理念のもとわたしたちは、  
すべての人々のしあわせに  
今、役立ちたいと願っています。



〒253-0081 茅ヶ崎市下寺尾 1928

☎ 0467-54-9111

[www.reijukai.or.jp](http://www.reijukai.or.jp)

検索



くらしでよかった湘南。

LU SCA

湘南ステーションビル株式会社  
茅ヶ崎店

茅ヶ崎市元町1番1号  
0467-87-2801

<http://www.lusca.co.jp>



ITでオフィスを  
元気にする

<http://www.otsuka-shokai.co.jp>

株式会社 大塚商会 藤沢支店

〒251-0052 神奈川県藤沢市藤沢223-2 藤沢 ビル2階 0466-27-8151  
本社:〒102-8573 東京都千代田区飯田橋2-18-4  
関西支社・札幌・仙台・宇都宮・中部・京都・神戸・広島・九州

記念誌・会員名簿・規約集・自費出版物  
貴方がパソコンで作られた自分史の製本も承ります

ズ 株興版印刷

平塚市新町7-15  
TEL0463-32-1899  
FAX0463-32-1865

lifsea  
株式会社リフシア

「心を添えてともに生きる」の理念のもと

私たち「リフシア」は2004年の創業以来、要介護状態になっても「住み慣れた地域での暮らし」を支え、「その人らしく生きる」ための関わりを大切にしてきました。「幅広いサービス」「地域ネットワーク」「企業市民」の3つをキーワードに、皆様にご満足いただけるサービスを提供します。

通所介護

認知症対応型  
共同生活介護

小規模多機能型  
居宅介護

認知症対応型  
通所介護

居宅介護支援

訪問介護

短期入所  
生活介護  
(2015年予定)

サービス付  
高齢者向け住宅

生活支援  
サービス

介護予防事業

株式会社リフシア 〒253-0071 神奈川県茅ヶ崎市萩園2822-1

TEL:0467-55-5102 FAX:0467-55-5103 HP/<http://lifsea.co.jp>



リフシア萩園 リフシア松林 リフシア柳島 リフシア香川 リフシア松が丘 リフシア浜之郷 リフシア神明 リフシア善行 リフシア鶴沼海岸(2015年夏開設予定)

茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会創立30周年記念誌に  
ご協賛いただきありがとうございました。

各地区の特性を生かし、地区住民による身近な地域福祉の推進を、市社協、行政等関係機関とともに進めてまいります。引き続き、ご協力よろしくお願ひいたします。

---

---

茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会  
「連絡協のあゆみ」－ 創立30周年記念誌 －

平成26年11月発行

発行 茅ヶ崎市地区社会福祉協議会連絡協議会  
事務局 社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会  
〒253-0044 神奈川県茅ヶ崎市新栄町13番44号  
電話 0467-85-9650 FAX 0467-85-9651  
Eメール eboshi@shakyo-chigasaki.or.jp  
印刷所 (株) 興版印刷

---

---